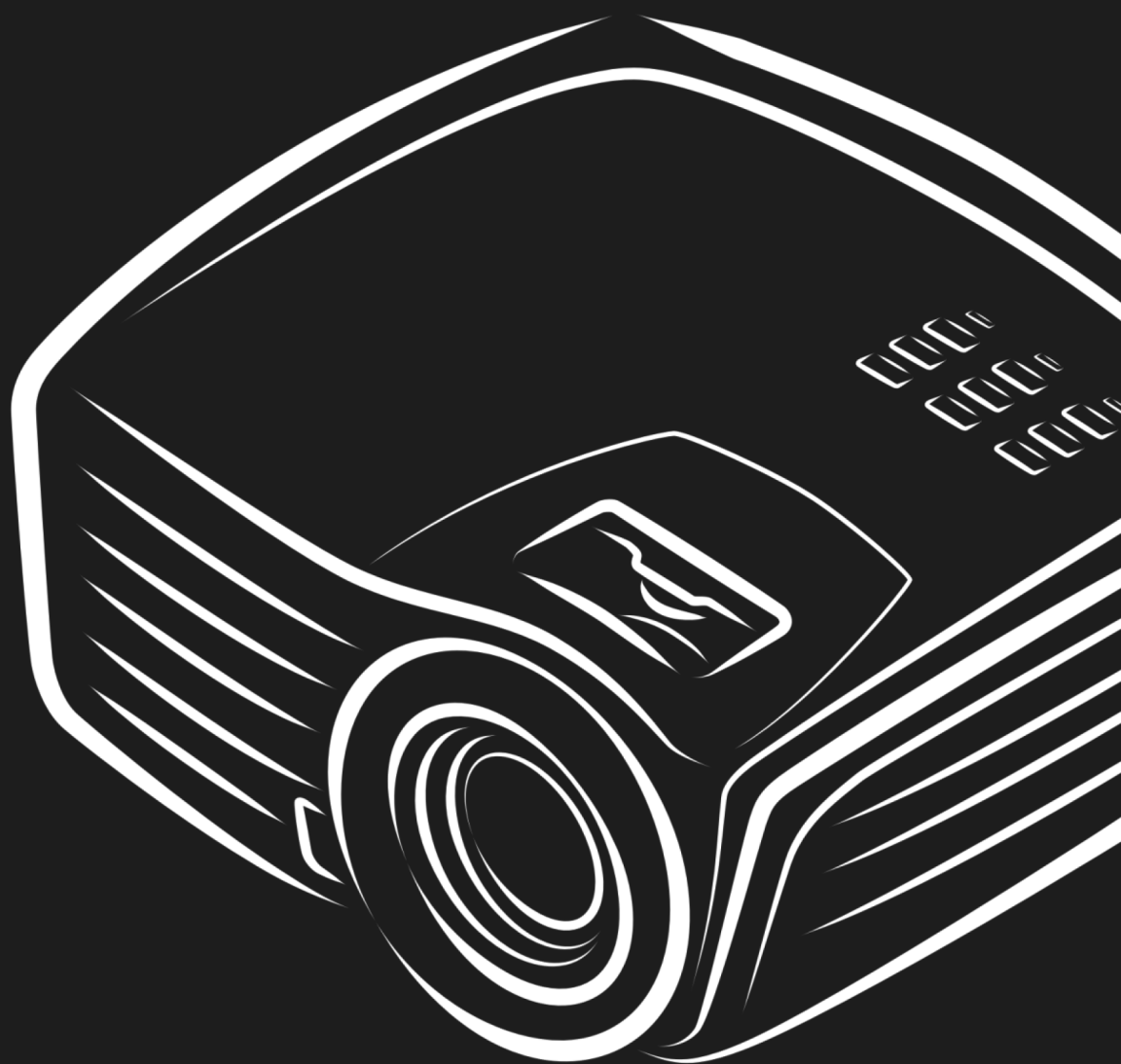


OS PROJECTOR LUXOS[®]

LP-200FH1

取扱説明書（保証書付）



著作権

本書および本書に掲載されるすべての写真、図、およびソフトウェアは国際著作権法の保護の適用を受けるものとし、無断転載および複写を禁じます。本書、またはこれに含まれるすべての素材については、著者による書面での同意を伴わずにこれを複製することを禁じます。

免責事項

本書の内容は予告なく変更される場合があります。メーカーは本書に示される内容について一切の表明を行わず、また保証を行いません。特に、商品性または特定の用途への適性については、一切の黙示的保証を行わないものとします。メーカーは、本書を改訂し、本書の内容を随時変更する権利を有します。ただし、かかる改訂または変更について一切の通知義務を負わないものとします。

商標の識別



Kensington は、ACC Brand Corporation が所有する米国の登録商標であり、現在他国でも登録済み、または登録の出願が行われています。



HDMI、HDMI のロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国および他国における HDMI Licensing LLC の商標および登録商標です。



SRS Labs, Inc.の商標です。「WOW」テクノロジーは SRS Labs, Inc.からのライセンスの許諾を得て製品化されています。

WOW®はオーディオの再生品質を著しく向上させる立体音響技術です。豊かな重低音によるダイナミックな 3D エンターテインメントを実現します。

本書において言及されるその他すべての製品名は、それぞれの所有者に帰属するものとします。

安全にご使用いただくために

**重要:**

プロジェクターを使用する前にこのセクションをよくお読みください。プロジェクターを長期にわたって快適にご使用いただくには、これらの安全上/使用上の指示を遵守する必要があります。

本マニュアルは、いつでも参照できるよう保管しておいてください。

本書で使用される記号

プロジェクター、および本マニュアルでは、危険を知らせる警告記号が使用されています。

安全上/使用上の重要な注意事項を示す記号は以下の通りです。

注記:

補足的情報を提供します。

**重要:**

見過ごされてはならない重要な補足情報を提供します。

**注意:**

プロジェクターの損傷につながる恐れのある危険について警告します。

**警告:**

プロジェクターの損傷、周囲環境への危険源の発生、または怪我の発生などにつながりかねない危険な状況について警告します。

本マニュアルにおいて、品名と **OSD** (オンスクリーンディスプレイ) 上に表示されるメニュー項目は太字で表記されます。

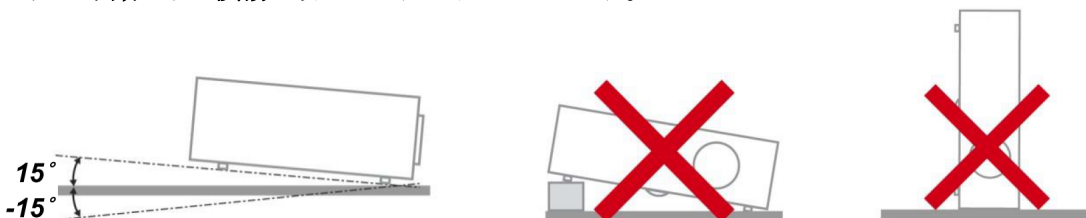
(例: 「リモコンの **Menu** (メニュー) ボタンを押して、**Main** (メイン) メニューを開きます。」)

一般的な安全情報

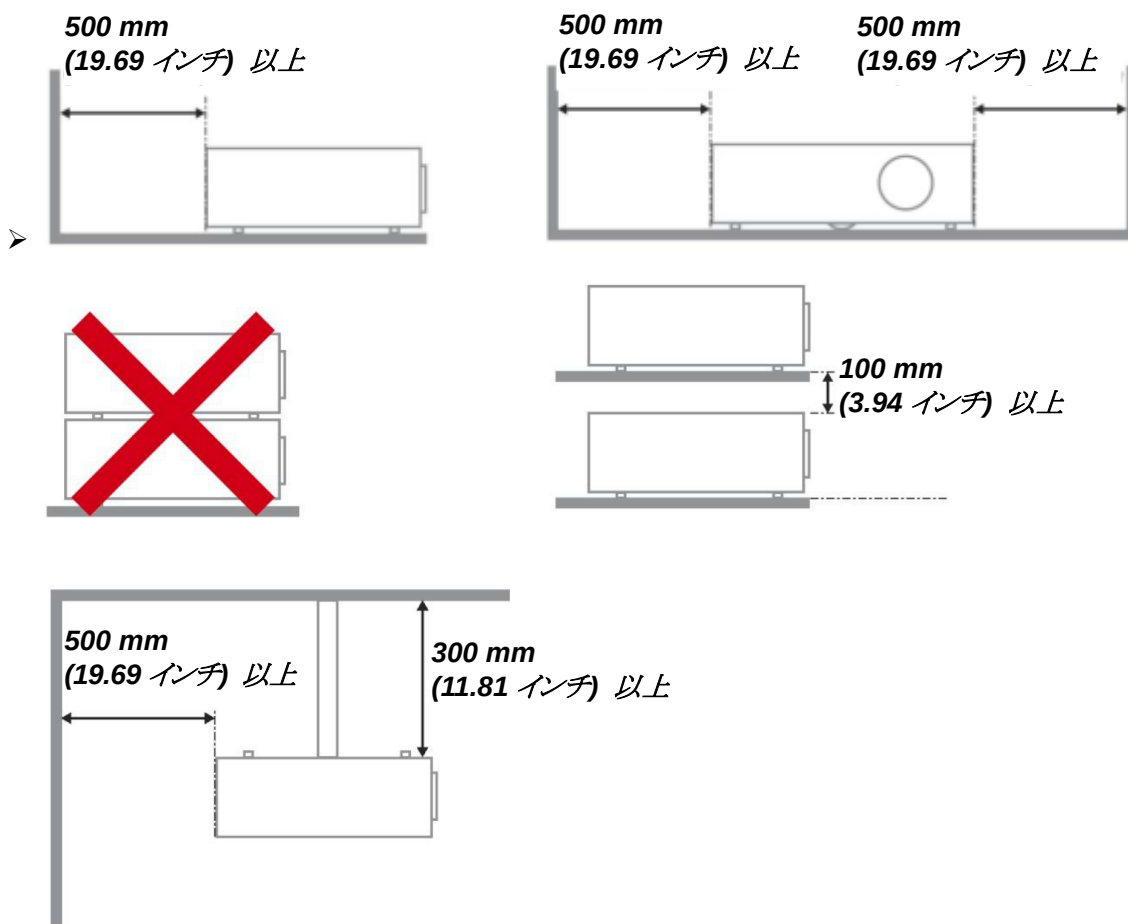
- プロジェクターのカバーは開かないでください。プロジェクターランプを除いて、ユーザーによる修理交換が可能なパーツはありません。修理が必要な場合には資格を持つ専門の修理担当者に連絡してください。
- 本マニュアルとプロジェクターのケースに記載されたすべての警告および注意事項を遵守してください。
- プロジェクターランプの照度は非常に明るく設計されています。目への損傷を防ぐため、ランプ点灯時にはレンズを覗き込まないよう注意してください。
- プロジェクターを不安定な場所や台車、スタンドなどの上に置かないでください。
- システムを、水のかかる場所や直射日光に当たる場所、または熱源の近くで使用しないでください。
- プロジェクターの上に本や鞆など、重いものを置かないでください。

プロジェクター設置時の注記

- プロジェクターは水平に設置してください。
プロジェクターを傾斜させる必要がある場合、**許容される傾斜角度は 15°以内**とし、設置は卓上、または天吊り上のいずれかとしてください。これに従わない場合、ランプの寿命が著しく低下するほか、その他の**予期しない損傷**を引き起こす可能性があります。



- 排気口の周囲には少なくとも 50 cm の隙間を確保してください。



- 吸気口が排気口からの高温のエアを取り込むことがないようにしてください。
- プロジェクターを閉鎖空間内で使用する場合は、プロジェクターの使用時に筐体内の周囲温度が作動温度を超えないよう注意する必要があります。また、吸気および排気口が塞がれていないことを確認してください。
- 排気口からの高温のエアが吸気口に入り込むと、筐体内の温度が正常な作動温度の範囲内にある場合でもプロジェクターがシャットダウンする恐れがあるため、すべての筐体は、認定を受けた熱評価基準をクリアし、排気が誤って再循環することのない環境が確保されていることを確認する必要があります。

設置位置の確認

- プロジェクターシステムを構成するすべての装置に対して適切な接地と等電位化を行うために、電力供給には **3 つ口 (接地線付き)** のコンセントを使用する必要があります。
- 電源コードは、プロジェクターに同梱されているものをご使用ください。コードを紛失した場合は、代替品として適切な認証を受けた **3 つ口 (接地線付き)** タイプの電源コードを使用しても構いません。ただし、**2 つ口** の電源コードは使用できませんのでご注意ください。
- 電圧が安定しているか、接地が正しく行われているか、また、漏電がないかを確認してください。
- 総電力量を測定し、安全容量を超過していないか、また、安全上の問題や回路の短絡が発生していないかを確認します。
- 設置場所の標高が高い場合は、**Altitude (高地)** モードを **ON** にします。
- プロジェクターは、水平に床置きした状態か、天吊り状態のいずれかの状態で取り付けてください。
- ブラケット取り付け時には、重量制限を超過していないこと、また、確実に固定されていることを確認してください。
- エアコンのダクトやサブウーファーの近くには設置しないでください。
- 高温の場所や冷房設備の不十分な場所、また、過度に埃っぽい場所への設置はおやめください。
- IR 干渉による故障を防ぐため、蛍光灯からは離して設置してください。
- **VGA IN** コネクターは必ず **VGA IN** ポートに接続してください。このとき、映像の投影を最適な状態で行うため、コネクターを奥まで確実に差し込み、両側のネジをしっかりと締め付けて、信号線との適切な接続状態を確立させてください。
- **AUDIO IN** コネクターは必ず **AUDIO IN** ポートに接続し、**AUDIO OUT** やその他のポート (**BNC**、**RCA** など) に接続しないよう注意してください。誤った接続先につなげると、音声出力がミュート状態になったり、ポートが損傷したりする恐れがあります。
- 損傷を防ぐため、プロジェクターは **500mm** 以上の離して設置してください。
- 電源コードおよび信号ケーブルは、プロジェクターの電源を入れる前に接続しておく必要があります。プロジェクターの作動開始時や動作プロセス中に信号ケーブルや電源コードを抜き差ししないでください。プロジェクターが損傷する恐れがあります。

冷却機能に関する注記

排気口

- プロジェクターの冷却を効率的に行うため、排気口の周囲 **50 cm** には障害物を何も置かないでください。
- 投影の妨げとなるため、排気口が別のプロジェクターのレンズの前に来ないように注意してください。
- 排気口を、他のプロジェクターの吸気口から少なくとも **50 cm** 離してください。
- プロジェクターは使用時に大変高温になります。そのため、シャットダウン時には内蔵されたファンがプロジェクター内にこもった熱を追い出すためにしばらく作動します。**AC power (AC 電源)** ボタンを押してプロジェクターの電源を切るときは、必ずプロジェクターが **SATANDBY (スタンバイ)** モードに切り替わってから行ってください。その後、電源コードを抜き取ります。プロジェクターのシャットダウン処理中には絶対に電源コードを抜き取らないでください。プロジェクターが破損する恐れがあります。また、放熱が速やかに行われないと、プロジェクターの製品寿命に影響を与える場合があります。シャットダウン処理の具体的な内容はモデルによって異なりますが、いずれの場合においても、電源コードの接続を外すのは必ずプロジェクターが **STANDBY (スタンバイ)** モードに入ってからにしてください。

吸気口

- (吸気口の) 周囲 **50 cm** 以内の範囲に、プロジェクターへの空気の流れを妨げるような障害物がないことを確認してください。
- 吸気口の近くに他の熱源を近づけないでください。
- 過度に埃っぽい場所での設置はやめてください。

電源の安全性

- 必ず同梱されている電源コードを使用してください。
- 電源コードの上には何も置かないでください。また、通路などの踏まれやすい場所等に通さないよう注意してください。
- 保管時、または長期間使用しない場合はリモコンの電池を取り外しておいてください。

ランプの交換

安全を確保するため、ランプの交換は正しく行ってください。この作業を行うための具体的且つ安全な手順の詳細については、**P39「プロジェクターランプの交換」**を参照してください。ランプの交換を行う前には、以下を実施してください。

- 電源コードを抜く。
- ランプを 30 分以上放置して熱を取る。



注意:

ごく稀に、通常動作中にランプの電球が切れてガラスの破片や粉が後方の排気口から飛び出してくる場合があります。

このとき、ガラスの粉や破片を吸い込んだり、触ったりしないよう注意してください。怪我をする恐れがあります。

ガスや割れたランプの破片で怪我をしないよう、排気口には絶対に顔を近づけないでください。

プロジェクターの清掃

- 清掃を行う場合は、必ず電源コードを抜いてください。**P42「プロジェクターの清掃」**を参照してください。
- ランプを30 分以上放置して熱を取ります。

規制に関する警告

プロジェクターの設置および使用を行う前には、必ず **P54 の「規制の遵守」**に記載された規制関連の注記をよくお読みください。

リサイクルに関する重要な注意事項:



本製品に使用されるランプには、水銀が含まれています。この他にも、本製品には適切に廃棄されないと危険が発生する電子廃棄物が含まれている場合があります。製品の再利用または廃棄については、該当する地域の適用法を遵守してください。

記号の説明



廃棄: 電気/電子装置を廃棄する場合、通常のごみやその他の都市廃棄物の回収サービスを利用することはできません。

主な特徴

- 軽量デザインで、梱包・移動もラクラク。
- NTSC、PAL、および SECAM など、主要なすべてのビデオ規格に適合。
- 高輝度ランプの採用で日中、または電気のついた部屋でのプレゼンテーションも快適に。
- FHD までの解像度に対応。淀みのないクリアな映像を提供します。
- フレキシブルなセットアップで前面/背面投影どちらにもご利用いただけます。
- 斜めからの投影時にも優れた縦方向のキーストーン補正によって、台形歪みのないスクエアな投影を確保します。
- 入力ソースを自動検出。

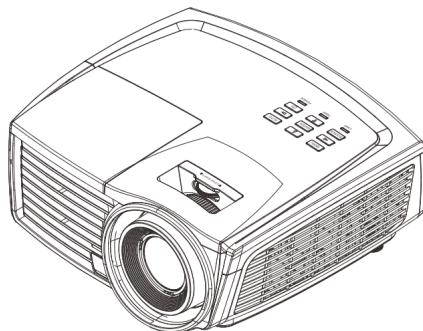
目次

はじめに	1
内容物チェックリスト	1
各部の名称	2
前面	2
上面図—OSD (オンスクリーンディスプレイ) ボタンおよびLED	3
背面図	3
底面図	6
リモコンの各部の名称	7
リモコンの動作範囲	9
プロジェクターとリモコンのボタン	9
リモコンに電池を入れる	10
設定と操作	11
プロジェクターの始動およびシャットダウン	11
アクセスパスワード (セキュリティコード) の設定	13
プロジェクターの高さ調節	15
イメージの垂直位置の調節	16
ズーム、フォーカス、およびキーストーンの調節	16
音量調節	17
オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの設定	18
OSD メニューコントロール	18
OSD メニュー内の移動	18
OSD の言語設定	19
OSD メニューの概要	20
Image (イメージ) メニュー	22
Computer (コンピュータ) メニュー	24
詳細設定機能	25
ホワイトバランス	26
カラーマネージャー	27
Settings 1 (設定 1) メニュー	28
オーディオ	29
詳細設定 1 の機能	30
詳細設定 2 の機能	32
Settings 2 (設定 2) メニュー	33
ステータス	34
詳細設定 1 の機能	35
詳細設定 2 の機能	37
保守と安全性	39
プロジェクターランプの交換	39
ランプ使用時間のリセット	41
プロジェクターの清掃	42
レンズの清掃	42
ケースの清掃	42
Kensington®ロックの使用/セキュリティバーの使用	43
Kensington®ロックの使用	43
セキュリティバーの使用	43
トラブルシューティング	44

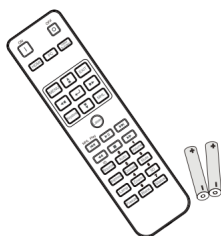
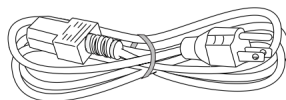
よくある不具合とその解決法	44
トラブルシューティングのヒント	44
LED によるエラーメッセージ	45
イメージの不具合	45
ランプの不具合	46
リモコンの問題	46
オーディオの問題	46
プロジェクターを修理に出すときは	47
HDMI に関する Q&A	48
仕様	49
仕様一覧	49
投影距離と投影寸法	50
タイミングモード表	51
プロジェクターの寸法	53
規制の遵守	54
FCC 警告	54
カナダ	54
安全認定	54
付録 I	55
RS-232C プロトコル	55
保証書	61

内容物チェックリスト

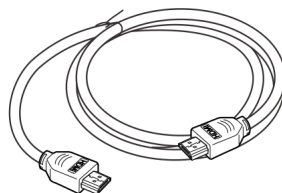
プロジェクターの梱包を外して、以下のパーツがすべて含まれているか確認してください。



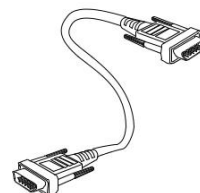
DLP プロジェクター

リモコン
単4 電池2 本

電源コード



HDMI ケーブル



VGA ケーブル



クイックスタートガイド

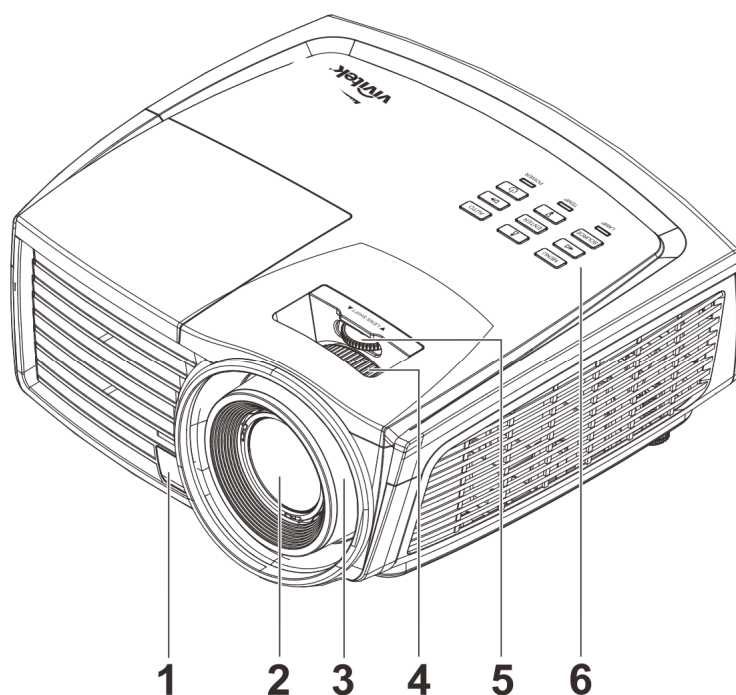
取扱説明書
(保証書付)

不足品や損傷したパーツがある場合、またはプロジェクターが正常に作動しない場合は購入元の販売店までご連絡ください。保証サービスを受けるための、ご購入時の梱包材は保管されることをお勧めします。

**注意**

埃の多い場所ではプロジェクターを使用しないでください。

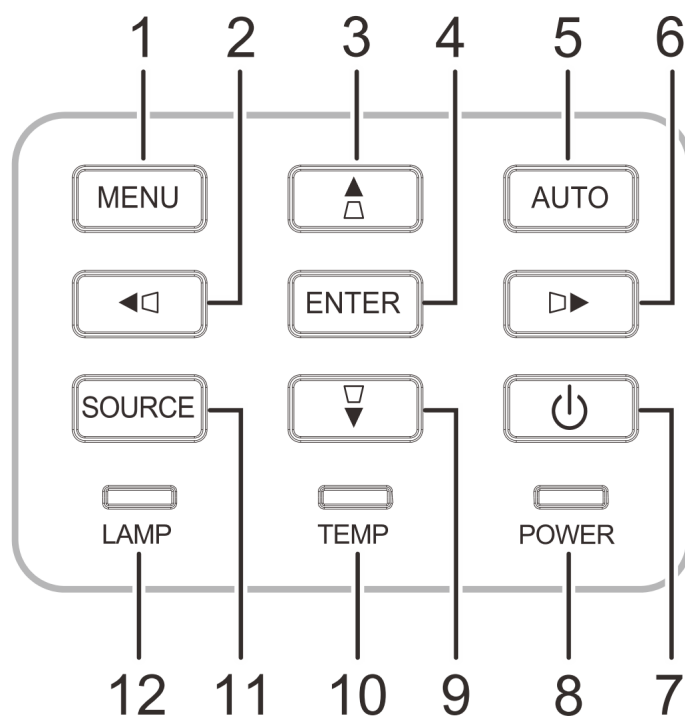
各部の名称

前面

番号	名称	説明	参照頁
1.	IR レシーバー	リモコンから IR 信号を受信します。	
2.	レンズ	プロジェクターレンズ	
3.	フォーカスリング	投影されたイメージの焦点を合わせます。	16
4.	ズームリング	投影されたイメージを拡大します。	
5.	レンズシフト	投影イメージを垂直方向へシフトさせます。	16
6.	ファンクションキー	「上面図—OSD (オンスクリーンディスプレイ) ボタンおよび LED」を参照してください。	3

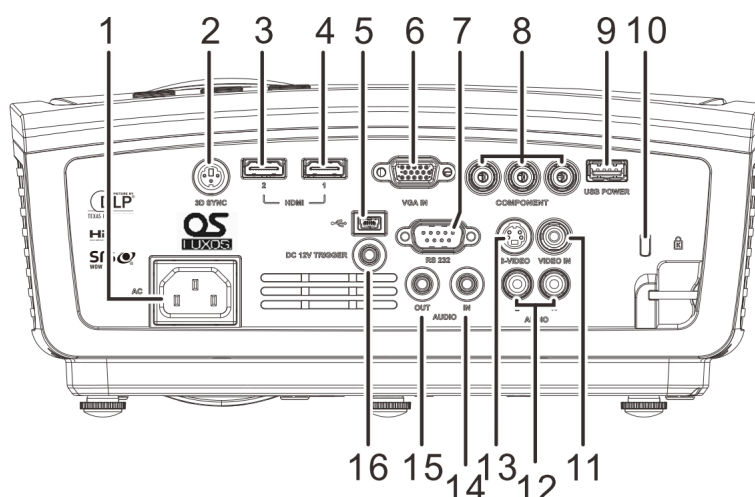
**重要:**

プロジェクターの口開口部はプロジェクター内の空気を循環させてプロジェクターランプを効率的にクールダウンできるよう考慮して設計されています。このため、口開口部の周囲には空気の循環を妨げるような障害物等を置かないでください。

上面図—OSD (オンスクリーンディスプレイ) ボタンおよびLED

番号	名称	説明		参照頁
1.	MENU (メニュー)	OSD メニューを開いたり、閉じたりします。		18
2.	◀◻	OSD 内の移動や設定変更に使用します。 クイックメニュー—音量調整		
3.	▲ ◻	OSD 内の移動に使用します。 クイックメニュー—キーストーン調整		
4.	ENTER (入力/決定)	入力、またはハイライト表示された OSD メニュー項目の確定を行います。		
5.	AUTO (オート)	イメージのサイズや位置、解像度を最適化します。		
6.	◻▶	OSD 内での移動や設定変更に使用します。 クイックメニュー—音量調整		
7.	⏻	プロジェクターの電源を ON/OFF します。		
8.	POWER LED (電源 LED)	緑	電源 on 準備完了 (スタンバイ) ランプ点灯、システム安定 温度超過	45
		点滅	エラーコード	
9.	◻ ▼	OSD 内の移動に使用します。 クイックメニュー—キーストーン調整		18
10.	TEMP LED (温度 LED)	赤	温度超過	45
11.	SOURCE (ソース)	ソースメニューを入力します。		18
12.	LAMP LED (ランプ LED)	赤色	ランプ故障	45
		点滅	エラーコード	

背面図



番号	名称	説明	参照頁
1.	AC IN	電源ケーブルを接続します。	11
2.	3D SYNC	3D IR グラス用トランスミッターを接続します。 (注記: DLP 3D IR グラスのみの対応となります)	
3.	HDMI 2	HDMI デバイスからの HDMI ケーブルを接続します。	
4.	HDMI 1	HDMI デバイスからの HDMI ケーブルを接続します。	
5.	USB	コンピュータからの USB ケーブルを接続します。	
6.	VGA IN	コンピュータからの VGA ケーブルを接続します。	
7.	RS-232C	リモコン用の RS-232 シリアルポートケーブルを接続します。	
8.	COMPONENT (コンポーネント)	コンポーネントからのケーブルを接続します。	
9.	USB POWER (USB 電源)	USB 充電サポート用 (DC 5V)	
10.	Kensington Lock (ケンジントンロック)	Kensington®ロックシステムを使用して、プロジェクターを固定します (盗難防止)。	43
11.	VIDEO IN (ビデオ入力)	ビデオ機器からのコンポジットケーブルを接続します。	
12.	AUDIO IN (L and R) (オーディオ入力)(左/右)	オーディオ機器からのオーディオケーブルを接続します。	
13.	S-VIDEO (S-ビデオ)	ビデオ機器からの S-ビデオを接続します。	
14.	AUDIO IN (オーディオ入力)	オーディオ機器からのオーディオケーブルを接続します。	
15.	AUDIO OUT (オーディオ出力)	オーディオケーブルをオーディオアンプへ接続します。	
16.	DC 12V TRIGGER (DC 12V トリガー)	市販のケーブルを使用してスクリーンとの接続を行うと、スクリーンがプロジェクターの起動に連動して自動的に立ち上がります。プロジェクターの電源を OFF にすると、スクリーンは格納されます。(下記の注記を参照)	

**注記:**

- この機能を使用する場合は、プロジェクターの電源 ON/OFF を行う前にコネクタを接続する必要があります。
- スクリーン用コントローラーの供給とサポートはスクリーンのメーカーが行います。
- このジャックは本来の用途以外には使用しないでください。

注記:

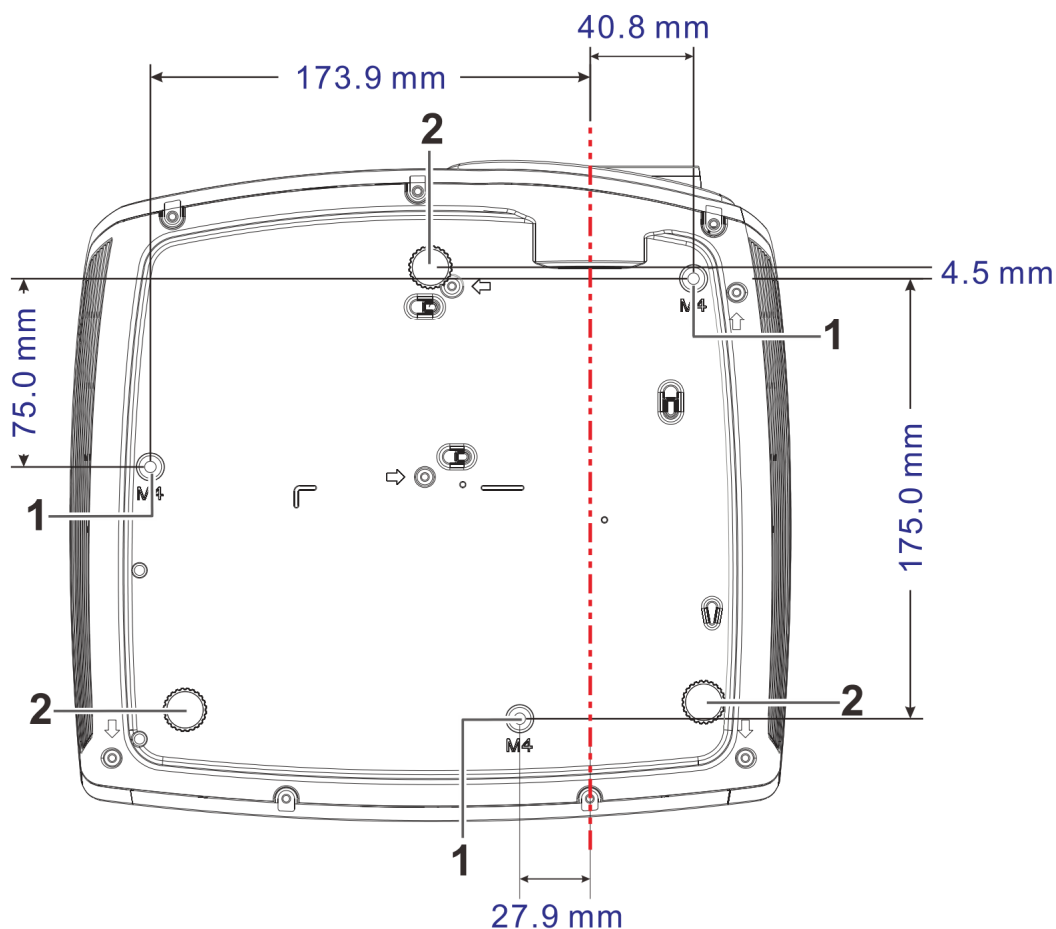
ビデオ機器に S-VIDEO ジャックと RCA ジャック (コンポジットビデオ) の両方が備えられている場合、S-VIDEO コネクターに接続してください。S-VIDEO の方がより高品質な信号が提供されます。



警告:

安全のため、接続を行う際にはプロジェクター、およびそれに接続されたすべての機器の電源を遮断してください。

底面図

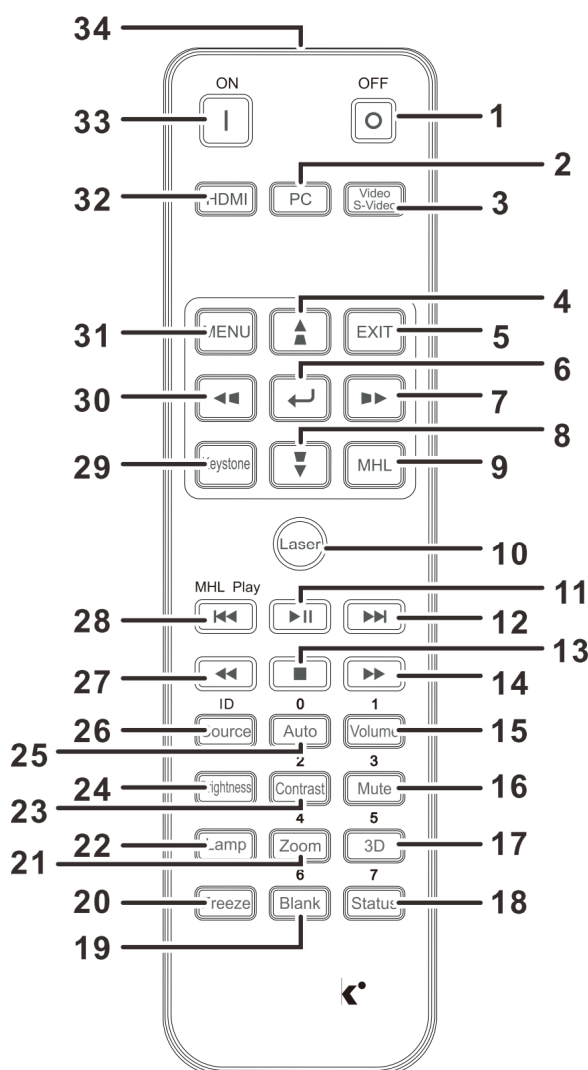


番号	名称	説明	参照頁
1.	天井取付穴	天井へのプロジェクターの取り付けに関する詳細情報については、購入元の販売店までお問い合わせください。	
2.	チルトアジャスター	アジャスターレバーを回して取付角度を調整します。	15

注記:

プロジェクターの設置時に天吊りが必要な場合は、必ず専用天吊り金具のみを使用してください。
 天井への取り付け時には適切な取付金具とM4 ネジ (ネジ深さ6 mm (0.24 インチ) 以下) を使用してください。
 天吊りの構造は、適切な形状および強度を有する必要があります。また、天吊りの許容荷重が、設置される機器の重量より大きいことを必ず確認してください。また、安全性をより高めるため、設置される機器の重量の3倍 (ただし、5.15 kg 以下) の負荷に60秒間耐え得る能力を有するものをご使用ください。

リモコンの各部の名称

**重要:**

1. 明るい蛍光灯を付けたままでのプロジェクターのご使用はおやめください。高周波点灯型の蛍光灯を使用すると、リモコンの動作の障害となる場合があります。
2. リモコンとプロジェクター間には、通信の妨げとなるものを置かないでください。リモコンとプロジェクター間の通信経路に障害物があると、プロジェクターのスクリーンなどの反射面から信号の跳ね返りが発生する恐れがあります。
3. プロジェクター上に設けられたボタンおよびキーは、リモコン上の対応するそれぞれのボタンと同じ機能を有します。本取扱説明書では、リモコンをベースとして各ボタンの機能説明をしています。

注記:

本プロジェクターシステムのレーザー製品については、すべてFDAが定める性能規格に適合しています (Laser Notice No. 50 (2007 年 6 月 24 日発行) に準ずる偏差は除きます)。

**注意:**

本マニュアルに定められていないコントローラーの使用や指示されていない調整、または手順の実施は、有害な暴露事故につながる恐れがあるため、絶対に行わないでください。

番号	名称	説明	参照頁
1.	OFF	プロジェクターの電源を OFF にします。	
2.	PC	表示させる入力ソースを PC ソース間で切り替えます。	
3.	Video/S-Video (ビデオ/S-ビデオ)	表示させる入力ソースを、ビデオおよび S-ビデオ間で切り替えます。	
4.		OSD メニューまたは MHL モード内の移動や設定変更を行います。 キーストーン補正	18
5.	EXIT	直前の OSD メニューに戻ったり、メニューを閉じる、またはメニュー内の設定を保存します。 MHL モード内の直前のページに戻ったり、プログラムを終了させます。	
6.		OSD または MHL モードに入ったり、設定内容を確定します。	18
7.		OSD または MHL モード内を移動したり、設定を変更します。	
8.		OSD または MHL モード内を移動したり、設定を変更します。 キーストーン補正。	18
9.	MHL	MHL モード内での選択を開始します。	
10.	Laser (レーザー)	日本仕様のため、レーザポインターは使用できません。	
11.		MHL モードでファイルの再生/一時停止を行います。	
12.		MHL モードで次のファイルに移動します。	
13.		MHL モードでファイルの再生を停止させます。	
14.		MHL モードでファイルを早送りします。	
15.	Volume/1 (ボリューム/1)	音量設定バーを表示します。 使用中のリモート ID 設定番号が表示されます。	17
16.	Mute/3 (ミュート/3)	内蔵スピーカーの ON/OFF を切り替えます。 使用中のリモート ID 設定番号が表示されます。	
17.	3D/5	3D 機能の OSD を開きます。 使用中のリモート ID 設定番号が表示されます。	
18.	Status/7 (ステータス/7)	OSD Status (OSD ステータス) メニューを開きます (メニューは入力機器が検出された場合に限り開きます)。 使用中のリモート ID 設定番号が表示されます。	34
19.	Blank/6 (ブランク/6)	スクリーンの表示を消したり、通常画面に戻したりします。 使用中のリモート ID 設定番号が表示されます。	
20.	Freeze (フリーズ)	スクリーン上の画像をフリーズさせたりフリーズ解除したりします。	
21.	Zoom/4 (ズーム/4)	ズーム設定バーを表示します。 使用中のリモート ID 設定番号が表示されます。	
22.	Lamp (ランプ)	ランプモードの選択画面を表示します。	
23.	Contrast/2 (コントラスト/2)	コントラスト設定バーを表示します。 使用中のリモート ID 設定番号が表示されます。	
24.	Brightness (明るさ)	明るさ設定バーを表示します。	

番号	名称	説明	参照頁
25.	Auto/0 (オート/0)	周波数、フェーズ、および位置の調整を自動で行います。 使用中のリモート ID 設定番号が表示されます。	18
26.	Source/ID (ソース/ID)	ソース選択バーを表示します。 リモコンのカスタマーコードを設定するコンボキー機能 (ID+番号)	
27.	◀◀	MHL モードでファイルを早戻しします。	
28.	◀◀	MHL モードで直前のファイルに戻ります。	
29.	Keystone (キーストーン)	キーストーン設定バーを表示します。	16
30.	◀◀	OSD または MHL モード内を移動したり、設定を変更したりします。	
31.	Menu (メニュー)	OSD を開きます。	18
32.	HDMI	表示させる入力ソースを HDMI ソース間で切り替えます。	
33.	ON	プロジェクターの電源を ON にします。	
34.	Laser (レーザー)	日本仕様は、レーザポインター機能はありません。	

注記:**リモコンによるスマートデバイスの制御**

MHL 対応のスマートデバイスに保存されたコンテンツをプロジェクターで投影したい場合、リモコンを使用してそれらのスマートデバイスを操作することができます。

MHL モードに入るには以下のボタンでお手持ちのスマートデバイスをコントロールします。

矢印キー (▲上、▼下、◀左、▶右)、MENU (メニュー) /EXIT (終了)、MHL の各コントロールボタン

プロジェクターが MHL モードにある場合、プロジェクター上のキーパッドにリモコンのキーと同じ定義付けがされている必要があります。

リモコンの動作範囲

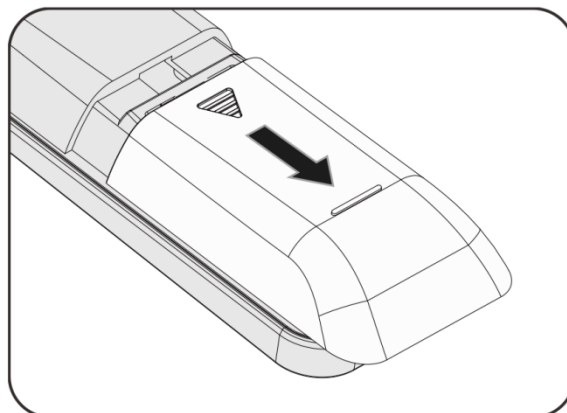
リモコンは赤外線通信によってプロジェクターを制御します。リモコンはプロジェクターにまっすぐ向ける必要はありません。リモコンをプロジェクターの側面または背面に向けたままにしていなければ、プロジェクターから半径約 7 m (23 フィート)、設置面から上下 15°の範囲においてどこでも良好に反応します。リモコンにプロジェクターが反応しない場合は、リモコンを少し近づけてみてください。

プロジェクターとリモコンのボタン

プロジェクターは、リモコン、またはプロジェクター上面に設置されたボタンのどちらからでも操作が可能です。ただし、リモコンではすべての操作を行うことができるのに対して、プロジェクター上のボタンの機能は限られています。

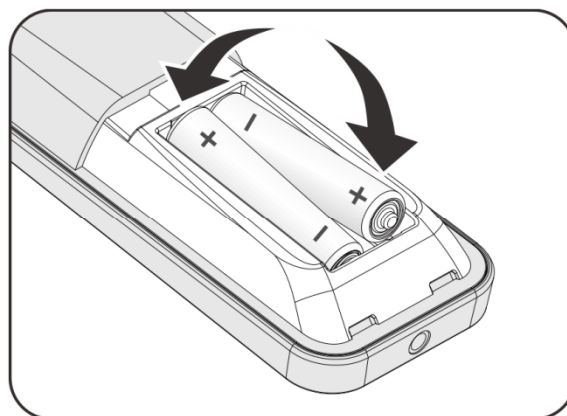
リモコンに電池を入れる

1. 電池カバーを矢印の方向へスライドさせて、カバーを外します。



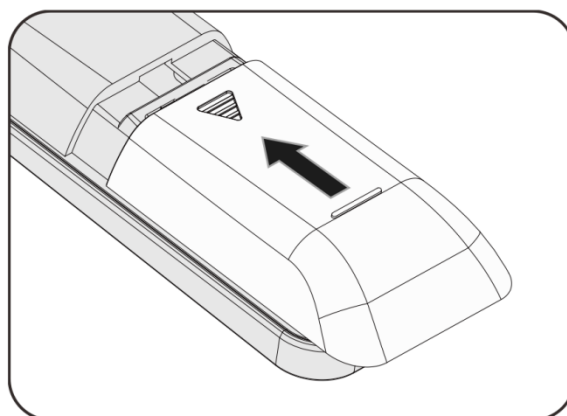
取 り

2. 電池を入れます。プラス側を持ち上げながら（マイナから）差し込んでください。



ス 側

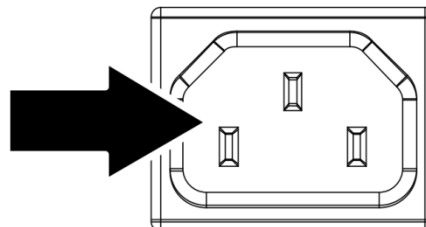
3. カバーを元に戻します。

**注意**

- 必ず単4電池を使用してください（アルカリ電池を推奨します）。
- 使用済みの電池は地域の規則に従った方法で廃棄してください。
- プロジェクターを長期間使用しない場合は、電池を抜いておいてください。

プロジェクターの始動およびシャットダウン

1. 電源コードをプロジェクターに接続します。もう一方の端部を壁のコンセントに接続します。
プロジェクターの、 **POWER (電源)** LED が点灯します。



2. 接続済みの機器の電源を ON にします。

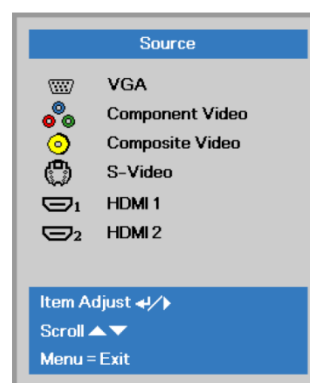
3. **POWER (電源)** LED が点滅していないことを確認します。次に  **POWER (電源)** ボタンを押して、プロジェクターの電源を ON にします。

プロジェクターのスプラッシュスクリーンが表示され、接続機器の検出が行われます。

セキュリティロックが作動している場合は、「[アクセスパスワード \(セキュリティコード\) の設定](#)」(P13) を参照してください。



4. 1 個以上の入力機器が接続されている場合は、**SOURCE (ソース)** ボタンを押してから▲▼で機器間をスクロールします。
(コンポーネントには、RGB から COMPONENT ADAPTER (コンポーネントアダプター) で対応します)



- **VGA:** アナログ RGB
- **Component Video (コンポーネントビデオ):** 従来のコンポーネントビデオ
- **Composite Video (コンポジットビデオ):** 従来のコンポジットビデオ
- **S-Video (S ビデオ):** スーパービデオ (Y/C 分離)
- **HDMI 1 / HDMI 2:** (ハイディフィニションマルチメディアインターフェース)

5. 「POWER Off? / Press **Power** again (電源 OFF しますか/電源 OFF する場合は Power (電源) ボタンを再度押してください。)」のメッセージが表示されたら、**POWER** ボタンを押してください。プロジェクターの電源が OFF になります。



Power Off?

Press Power again

**注意:**

1. プロジェクターを始動させる前には必ずレンズキャップを取り外してください。
2. **POWER LED** の点滅が終了してプロジェクターがクールダウンしたことが示されるまでは、絶対に電源コードを抜かないでください。

アクセスパスワード (セキュリティコード) の設定

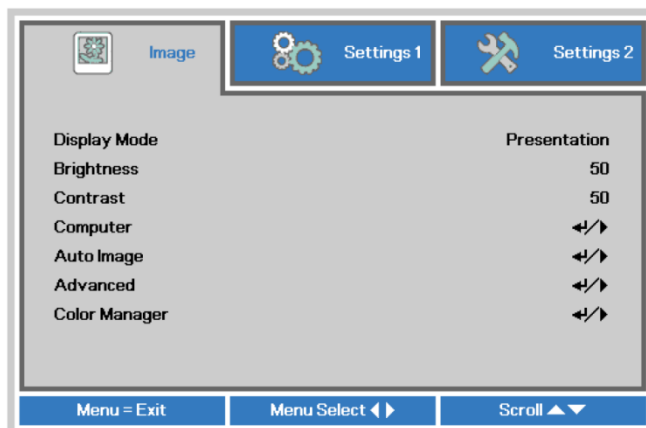
4 個の (矢印) ボタンを使用してパスワードを設定し、プロジェクターの無断使用を防ぐことができます。アクセスパスワードを有効にしている場合は、プロジェクターの電源を入れるたびにパスワードを入力する必要があります。(OSD メニューの使用方法については、「OSD メニュー内の移動」(P18)、および「OSD 言語の設定」(P19) をそれぞれ参照してください。)



重要:

パスワード情報は安全な場所に保管しておいてください。セキュリティロックを有効化している場合にパスワードがないとプロジェクターを使用することができません。パスワードを忘れた場合は、パスワードの消去方法についてご購入元の販売店までお問合せください。

1. **MENU (メニュー)** ボタンを押して OSD メニューを開きます。



2. カーソル<=>ボタンを押して **Settings 1 (設定 1)** メニューへ移動したら、カーソル<=>ボタンで **Advanced 1 (詳細設定 1)** を選択します。



3. <=> (Enter (決定))>キーを押して **Advanced 1 (詳細設定 1)** のサブメニューに進みます。カーソル<=>ボタンを押して **Security Lock (セキュリティロック)** を選択します。

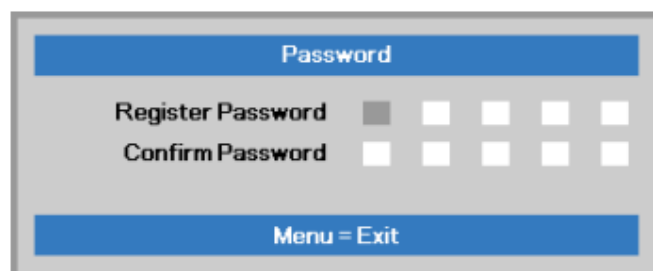


4. カーソル<=>ボタンを押してセキュリティロックの有効化/無効化を切り替えます。

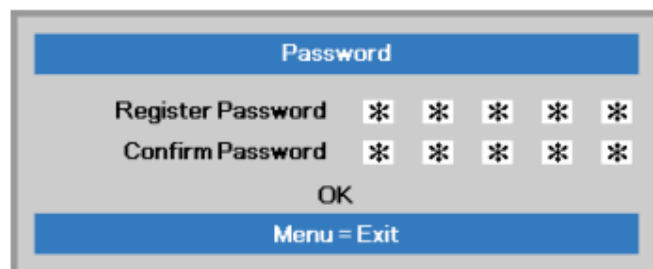
パスワード設定のためのダイアログボックスが自動的に表示されます。

5. パスワード入力時には、キーパッドまたは IR リモコンのカーソル▲▼◀▶ボタンを使用してください。カーソルはどのように組み合わせることも可能で、同じカーソルボタンを 5 回使用することもできます。ただし、必ずパスワードは 5 桁としてください。

任意の組み合わせでカーソルボタンを入力したら、**MENU (メニュー)** ボタンを押してダイアログボックスを閉じます。

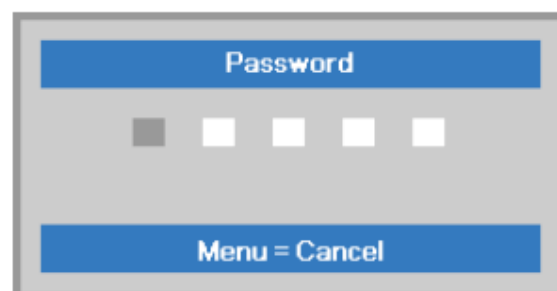


A dialog box titled "Password" with a blue header bar. It contains two rows of input fields: "Register Password" and "Confirm Password". Each row has five white square input boxes. Below the input fields is a blue bar with the text "Menu = Exit".



A dialog box titled "Password" with a blue header bar. It contains two rows of input fields: "Register Password" and "Confirm Password". Each row has five white square input boxes, each containing an asterisk (*). Below the input fields is the text "OK" and a blue bar with the text "Menu = Exit".

6. **Security Lock (セキュリティロック)** を有効化している場合にユーザーが **Power-On (電源 ON)** キーを押すと、パスワードの確認メニューが表示されます。ステップ 5 で設定した順序通りにパスワードを入力してください。パスワードを忘れた場合はサービスセンターまでご連絡ください。サービスセンターではオーナーの確認を行った上でパスワードのリセットのご案内をいたします。

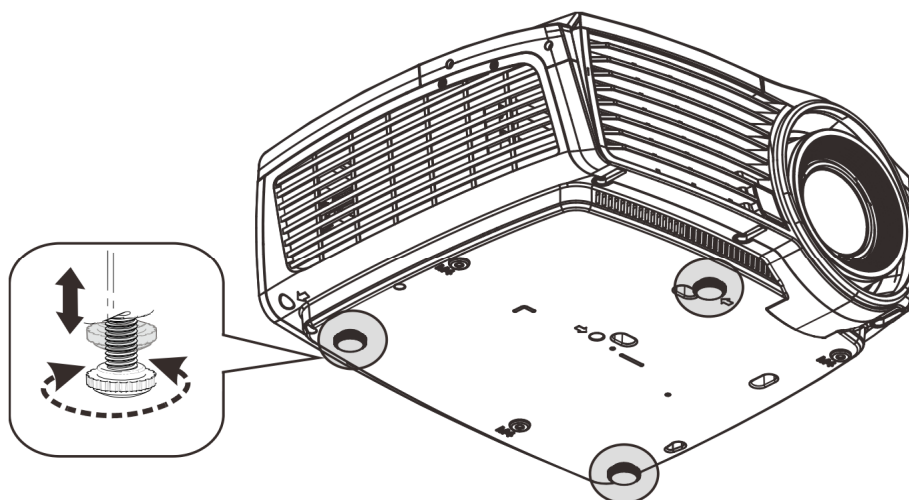


A dialog box titled "Password" with a blue header bar. It contains a single row of five white square input boxes. Below the input fields is a blue bar with the text "Menu = Cancel".

プロジェクターの高さ調節

プロジェクターのセットアップを行う際は、以下の点に注意してください。

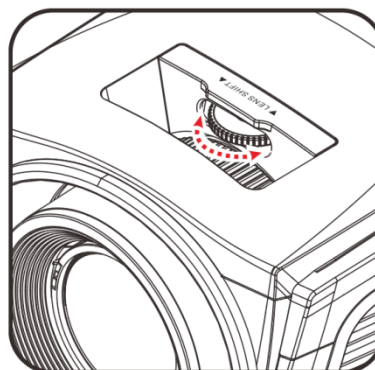
- プロジェクターを設置する机やスタンドが水平で安定していることを確認してください。
- プロジェクターはスクリーンに対して垂直になるよう配置してください。
- ケーブルは安全な場所に配線する必要があります。足に引っ掛かって転倒するなどの危険がないか確認してください。



投影される画像の角度を調節するために、チルトアジャスターを左右に回して適切な角度に合わせます。

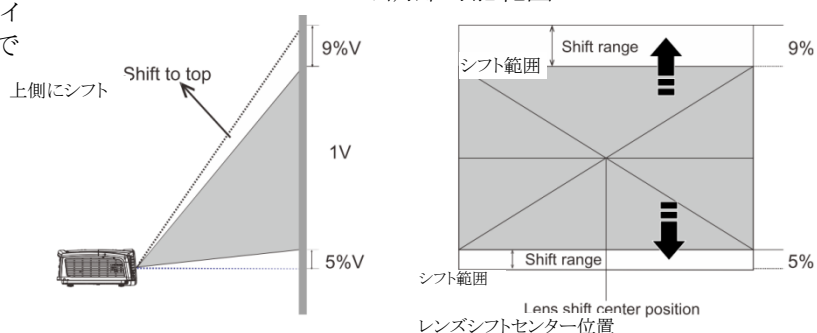
イメージの垂直位置の調節

Lens Shift (レンズシフト) 機能を使用すると、垂直位置の調節を行うことができます。



Lens shift adjustable range
レンズのシフト調節可能範囲

表示位置を移動させられる範囲は、上側へはディスプレイ全長の 9%、下側へは 5%の距離までです。



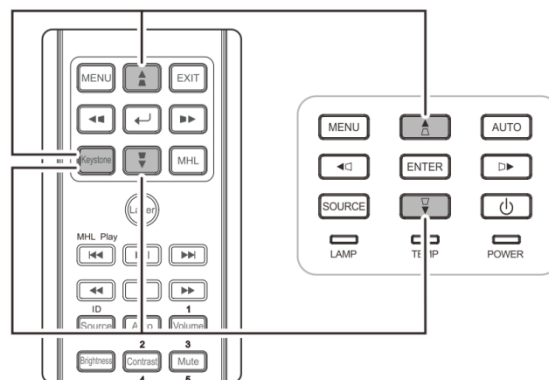
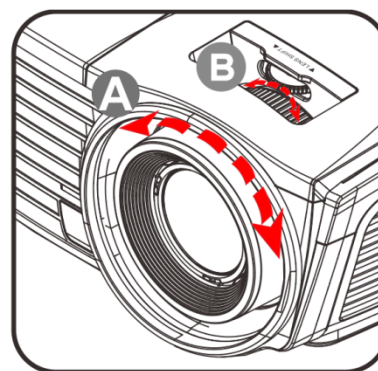
ズーム、フォーカス、およびキーストーンの調節

1. Image-zoom (イメージズーム) コントロール (プロジェクター上のみに設置) を使用して、投影されるイメージとスクリーンのサイズを再調節します **B**。

2. Image-focus (イメージフォーカス) コントロール (プロジェクター上のみに設置) を使用して、投影されるイメージに焦点を合わせます **A**。

3. KEYSTONE (キーストーン) ボタン (プロジェクター上またはリモコン上) を使用して、台形歪みを修正します。

4. キーストーンコントロールがディスプレイ上に表示されます。

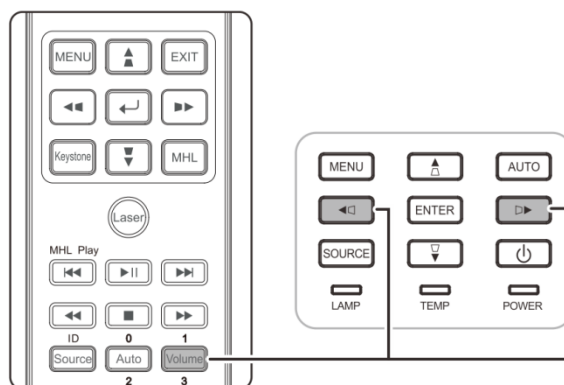


Keystone

0

音量調節

1. リモコン上の **Volume** (ボリューム +/-) ボタンを押します。
ディスプレイに音量コントロール
示されます。



ム)
が 表

2. **MUTE (ミュート)** ボタンを押す
声出力を **OFF** にすることができま
(この機能はリモコンのみに備えら
れています)



と、音
す。



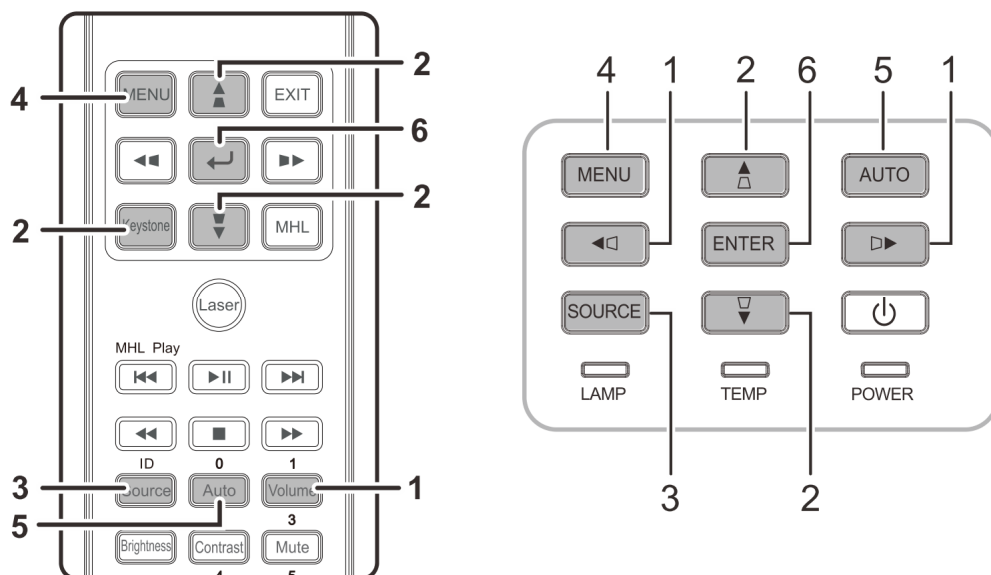
オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの設定

OSD メニューコントロール

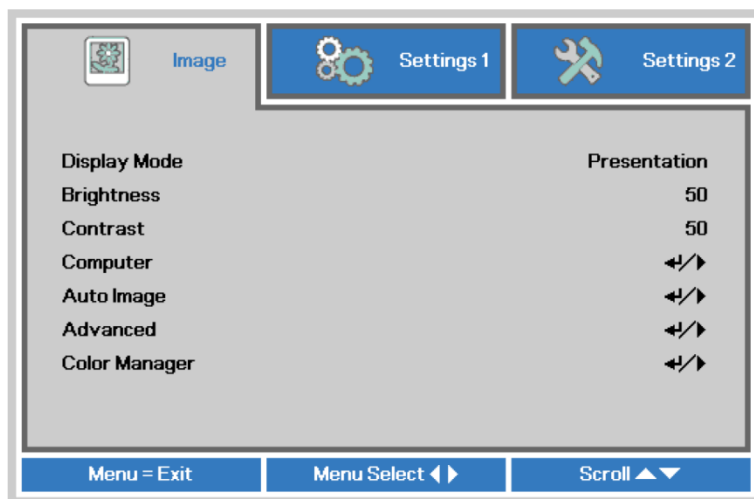
プロジェクターには OSD が搭載されており、イメージの調整や各種設定を行うことができます。

OSD メニュー内の移動

OSD メニュー内の移動や設定の変更は、リモコンのカーソルボタンで行います。



1. OSD に入るには、**MENU (メニュー)** ボタンを押します。
2. メニューは 3 種類あります。
カーソル◀▶ボタンを押してメニュー間を移動します。
3. メニュー内の上下の移動には、カーソル▲▼ボタンを使用します。
4. ◀▶を押して設定値の変更を行います。
5. OSD を閉じるか、サブメニューを終了させるには、**MENU (メニュー)** を押します。



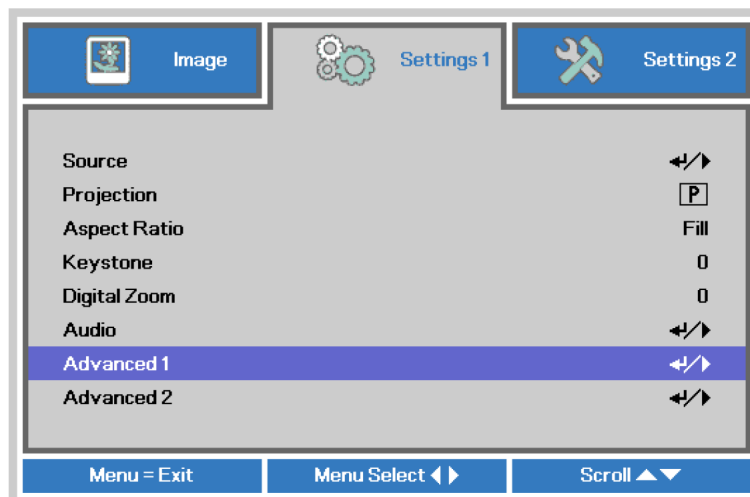
注記:

ビデオソースによっては、OSD 内の一部のメニューが使用できない場合があります。例えば、**Computer (コンピュータ)** メニュー内の **Horizontal/Vertical Position (水平垂直位置)** は、PC 接続がないと使用できません。利用できない状態の項目にはアクセスすることができません。また、それらの項目は灰色で表示されます。

OSD の言語設定

次に進む前に、OSD で使用する言語を設定してください。

1. **MENU (メニュー)** ボタンを押します。カーソル◀▶ボタンを押して **Settings 1 (設定 1)** まで進みます。次に、カーソル▲▼ボタンを押して **Advanced 1 (詳細設定 1)** メニューを選択します。



2. ◀ (Enter (エンター))/▶を押して、**Advanced 1 (詳細設定 1)** のサブメニューに入ります。 **Language (言語)** にハイライトが当たるまで、カーソル▲▼ボタンを押してください。



3. 希望の言語が表示されるまでカーソルボタンを押します。
4. OSD を閉じる場合は、**MENU (メニュー)** ボタンを 4 回押してください。

OSD メニューの概要

システム内における各設定項目の場所や設定可能範囲の確認には以下の図をご利用ください。

メインメニュー	サブメニュー	設定
Image (イメージ)	Display Mode (ディスプレイモード)	Presentation (プレゼンテーション)、Bright (明瞭)、Game (ゲーム)、Movie (映画)、TV、sRGB、Blackboard (黒板)、User (ユーザー)、ISF_Day (ISF: デイ)、ISF_Night (ISF: ナイト)
	Brightness (明るさ)	0~100
	Contrast (コントラスト)	0~100
	Computer (コンピュータ)	Horizontal Position (水平位置)
		Vertical Position (垂直位置)
		Frequency (周波数)
		Tracking (トラッキング)
	Auto Image (オートイメージ)	
	Advanced (詳細設定)	Brilliant Color (ブリリアントカラー)
		Sharpness (シャープネス)
		Gamma (ガンマ)
		Color Temperature (色温度)
		Video AGC (AGC 機能)
		Video Saturation (色彩度)
		Video Tint (色調)
		White Balance (ホワイトバランス)
		R Gain (R ゲイン)
		G Gain (G ゲイン)
		B Gain (B ゲイン)
		R Offset (G オフセット)
		G Offset (G オフセット)
		B Offset (B オフセット)
	Color Manager (カラーマネージャー)	Red (赤色)
		Green (緑)
		Blue (青)
		Cyan (シアン)
		Magenta (マゼンタ)
		Yellow (黄)
		White (白)

メイン

サブメニュー

設定

メニュー				
Settings 1 (設定 1)	Source (ソース)	Source (ソース)	選択された入力ソース (IR/キーパッド) を参照	
	Projection (プロジェクション)		Normal (ノーマル)、Real (リアル)、Ceiling (シーリング)、Real + Ceiling (リアル+シーリング)	
	Aspect Ratio (アスペクト)		Fill (フィル)、4:3、16:9、Letter Box (レターボックス)、Native (ネイティブ)、Theater Zoom (シアターズーム)	
	Keystone (キーストーン)		-40~40	
	Digital Zoom (デジタルズーム)		-10~10	
	Audio (オーディオ)	Volume (音量)	0~30	
		Mute (ミュート)	Off, On	
		SRS	Off, On	
	Advanced 1 (詳細設定 1)	Language (言語)	English, Français, Deutsch, Español, Português, 簡体中文, 繁體中文, Italiano, Norsk, Svenska, Nederlands, Русский, Polski, Suomi, Ελληνικά, 한국어, Magyar, Čeština, العربية , Türkçe, Việt, 日本語, ไทย , עברית, فارسی	
		Security Lock (セキュリティロック)	Off, On	
		Blank Screen (ブランクスクリーン)	Blank (ブランク)、Red (赤)、Green (緑)、Blue (青)、White (白)	
		Splash Logo (スプラッシュロゴ)	Std. (標準)、Off、User (ユーザー)	
		Closed Captioning (クローズドキャプション)	Off, On	
		Keypad Lock (キーパッドロック)	Off, On	
		3D Setting (3D 設定)	3D	Off、DLP-Link (DLP リンク)、IR
			3D Sync Invert (3D 同期反転)	Off, On
			3D Format (3D フォーマット)	Frame Sequential (フレームシーケンシャル)、Top/Bottom (トップ/ボトム)、Side-By-Side (サイドバイサイド)、Frame Packing (フレームパッキング) (3D フレームパッキング方式の HDMI ソースのみ)
		Advanced 2 (詳細設定 2)	Test Pattern (テストパターン)	None (なし)、Grid (グリッド)、White (白)、Red (赤)、Green (緑)、Blue (青)、Black (黒)
	H Image Shift (H (水平) イメージシフト)		-50~50	
	V Image Shift (V (垂直) イメージシフト)		-50~50	
	メイン			
メニュー		サブメニュー		
Settings 2 (設定 2)	Auto Source (オートソース)	設定 Off, On		

No Signal Power OFF (min) (信号なしパワーOFF (分))		0~180
Auto Power ON (オートパワーON)		Off, On
Lamp Mode (ランプモード)		ECO (エコ)、Normal (ノーマル)、Dynamic Eco (ダイナミックエコ)
Reset All (オールリセット)		
Status (ステータス)	Active Source (アクティブソース)	
	Video Information (ビデオ情報)	
	Lamp Hours (ECO, Normal) (ランプ使用時間 (エコ、ノーマル))	
Advanced 1 (詳細設定 1)	Menu Position (メニュー表示位置)	Center (中央)、Down (下)、Up (上)、Left (左)、Right (右)
	Translucent Menu (透明メニュー)	0%, 25%, 50%, 75%, 100%
	Low Power Mode (省電力モード)	Off, On
	Fan Speed (ファンスピード)	Normal (ノーマル)、Hight (高速)
	Lamp Hour Reset (ランプ使用時間リセット)	
	Projector ID (プロジェクターID)	0-98
	ISF Mode (ISF モード)	OFF, Lock (ロック)、Unlock (アンロック)
Advanced 2 (詳細設定 2)	Sleep Timer (min) (スリープタイマー (分))	0~600
	Source Filter (ソースフィルター)	VGA Disable (無効)、Enable (有効)
		Component Video (コンポーネントビデオ) Disable (無効)、Enable (有効)
		Composite Video (コンポジットビデオ) Disable (無効)、Enable (有効)
		S-Video (S-ビデオ) Disable (無効)、Enable (有効)
		HDMI 1 Disable (無効)、Enable (有効)
		HDMI 2 Disable (無効)、Enable (有効)
	Wall Color (ウォールカラー)	OFF, Light Yellow (薄黄)、Pink (ピンク)、Light Green (薄緑)、Blue (青)、Blackboard (黒板)
	Color Space (カラースペース)	Auto (オート)、RGB、YUV
	Quantization Range (量子化レンジ)	Auto (オート)、Full (フル)、limit (リミット)
	Screen Display (スクリーンディスプレイ)	16:9 Native (16:9 ネイティブ)、2.35 Ana. (2.35 アナモフィックレンズ)、2.35 Fixed Ana. (2.35 固定アナモフィックレンズ)、2.35 Native (2.35 ネイティブ)

Image (イメージ) メニュー

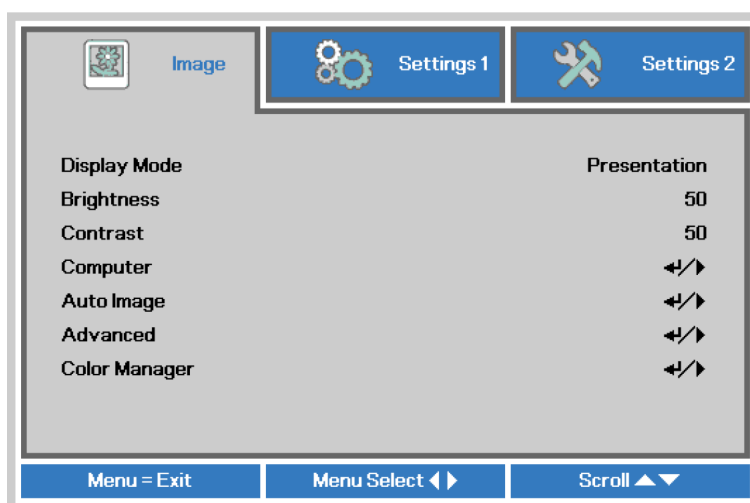


注意:

変更を行った場合、Display Mode (ディスプレイモード) のパラメーターはすべてユーザーモードに保存

されます。

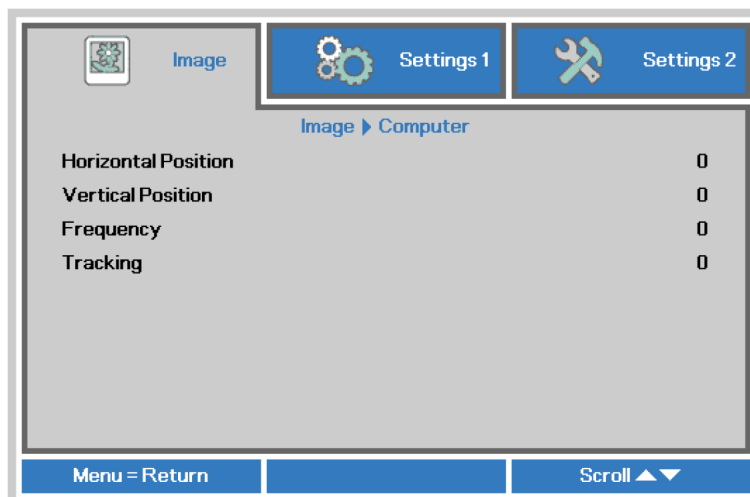
MENU (メニュー) ボタンを押して **OSD** メニューを開きます。カーソル◀▶ボタンを押して **Image Menu**(イメージメニュー)へ進みます。そこから、カーソル▲▼ボタンを押して **Image** (イメージ) メニュー内を上下に移動します。目的の項目を選択したら、◀▶を押して該当する設定値の入力や変更を行います。



項目	説明
Display Mode (ディスプレイモード)	カーソル◀▶ボタンを押して Display Mode (ディスプレイモード) に入り、設定を行います。
Brightness (明るさ)	カーソル◀▶ボタンを押して Brightness (明るさ) に入り、調整を行います。
Contrast (コントラスト)	カーソル◀▶ボタンを押して Contrast (コントラスト) に入り、調整を行います。
Computer (コンピュータ)	◀ (Enter (エンター)) /▶を押して Computer (コンピュータ) メニューに入ります。 (「 Computer (コンピュータ) メニュー 」(P24) を参照)
Auto Image (オートイメージ)	◀ (Enter (エンター)) /▶を押して、フェーズ、トラッキング、サイズ、および位置の自動調整を行います。
Advanced (詳細設定)	◀ (Enter (エンター)) /▶を押して、Advanced (詳細設定) メニューに入ります。(「 詳細設定機能 」(P25) を参照)
Color Manager (カラーマネージャー)	◀ (Enter (エンター)) /▶を押して Color Manager (カラーマネージャー) メニューに入ります。(「 カラーマネージャー 」の詳細については、P27 を参照)

Computer (コンピュータ) メニュー

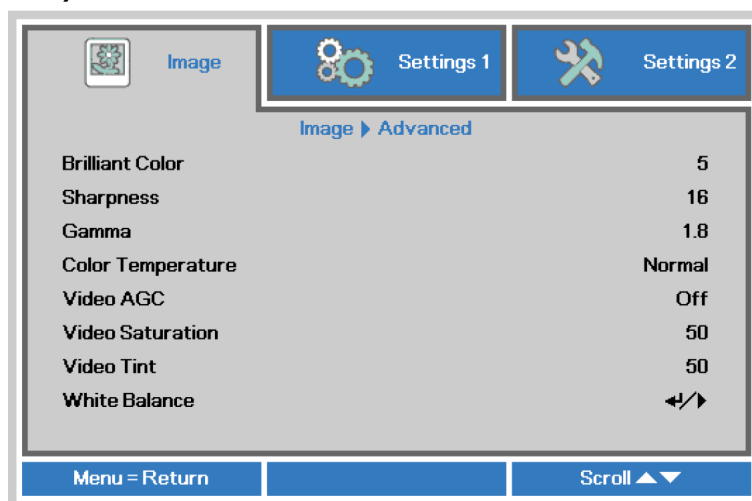
MENU (メニュー) ボタンを押して OSD メニューを開きます。◀▶を押して **Image (イメージ)** メニューに移動します。その後、▲▼を押して **Computer (コンピュータ)** メニューを選択し、**Enter (エンター)** または▶を押します。▲▼を押すと **Computer (コンピュータ)** メニュー内を上下に移動することができます。



項目	説明
Horizontal Position (水平位置)	カーソル◀▶ボタンを押して Horizontal Position (水平位置) に入り、ディスプレイの左右方向の位置を調整します。
Vertical Position (垂直位置)	カーソル◀▶ボタンを押して Vertical Position (垂直位置) に入り、ディスプレイの上下方向の位置を調整します。
Frequency (周波数)	カーソル◀▶ボタンを押して Frequency (周波数) メニューに入り、A/D サンプリングクロックを調整します。
Tracking (トラッキング)	カーソル◀▶ボタンを押して Tracking (トラッキング) メニューに入り、A/D サンプリングドットを調整します。

詳細設定機能

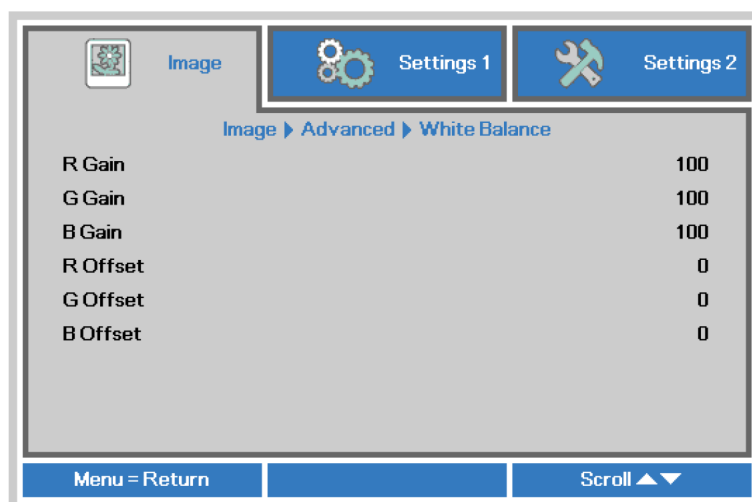
MENU (メニュー) ボタンを押して OSD メニューを開きます。◀▶を押して **Image (イメージ)** メニューに移動します。その後、▲▼を押して **Advanced (詳細設定)** メニューを選択し、**Enter (エンター)** または▶を押します。▲▼を押すと **Advanced (詳細設定)** メニュー内を上下に移動することができます。



項目	説明
Brilliant Color (ブリリアントカラー)	カーソル◀▶ボタンを押して Brilliant Color (ブリリアントカラー) に入り、設定値を調整します。
Sharpness (シャープネス)	カーソル◀▶ボタンを押して Sharpness (シャープネス) に入り、ディスプレイの鮮明度を調整します。
Gamma (ガンマ)	カーソル◀▶ボタンを押して Gamma (ガンマ) に入り、ディスプレイのガンマ補正を調整します。
Color Temperature (色温度)	カーソル◀▶ボタンを押して Color Temperature (色温度) に入り、色温度を調整します。
Video AGC (ビデオ AGC)	カーソル◀▶ボタンを押して Video AGC (ビデオ AGC) に入り、ビデオソースに対してオートマチックゲインコントロール(AGC)を有効化または無効化します。
Video Saturation (色彩度)	カーソル◀▶ボタンを押して Video Saturation (色彩度) に入り、ビデオの色彩度を調整します。
Video Tint (色調)	カーソル◀▶ボタンを押して Video Tint (色調) に入り、ビデオの色調/色相を調整します。
White Balance (ホワイトバランス)	ENTER (エンター) /▶ボタンを押して White Balance (ホワイトバランス) のサブメニューに入ります。 (詳細については、「 ホワイトバランス (P26) 」を参照)

ホワイトバランス

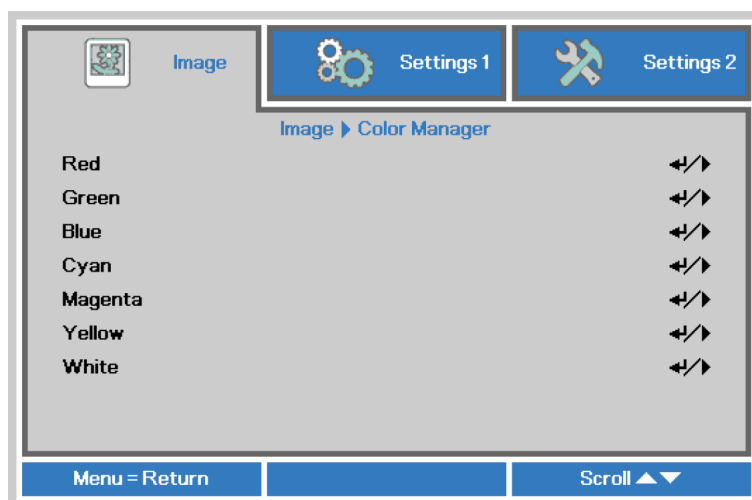
ENTER (エンター) ボタンを押して、**White Balance** (ホワイトバランス) のサブメニューに入ります。



項目	説明
R Gain (R ゲイン)	◀▶ ボタンを押して赤色ゲインを調整します。
G Gain (G ゲイン)	◀▶ ボタンを押して緑色ゲインを調整します。
B Gain (B ゲイン)	◀▶ ボタンを押して青色ゲインを調整します。
R Offset (R オフセット)	◀▶ ボタンを押して赤色オフセットを調整します。
G Offset (G オフセット)	◀▶ ボタンを押して緑色オフセットを調整します。
B Offset (B オフセット)	◀▶ ボタンを押して青色オフセットを調整します。

カラーマネージャー

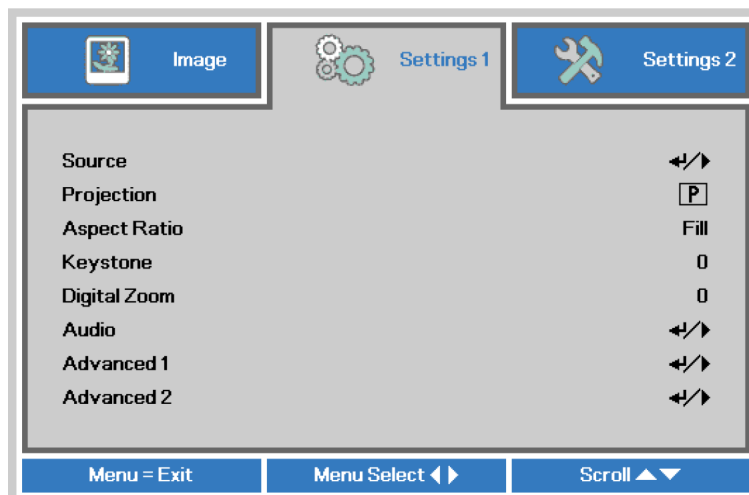
MENU (メニュー) ボタンを押して **OSD** メニューを開きます。◀▶を押して **Image (イメージ)** メニューに移動します。その後、▲▼を押して **Color Manager (カラーマネージャー)** メニューを選択し、**Enter (エンター)** または▶を押します。▲▼を押すと **Color Manager (カラーマネージャー)** メニュー内を上下に移動することができます。



項目	説明
Red (赤)	選択すると、Red Color Manager (赤色カラーマネージャー) に入ります。 ◀▶ボタンを押して色相、色彩度、およびゲインの調整を行います。
Green (緑)	選択すると、Green Color Manager (緑色カラーマネージャー) に入ります。 ◀▶ボタンを押して色相、色彩度、およびゲインの調整を行います。
Blue (青)	選択すると、Blue Color Manager (青色カラーマネージャー) に入ります。 ◀▶ボタンを押して色相、色彩度、およびゲインの調整を行います。
Cyan (シアン)	選択すると、Cyan Color Manager (シアン色カラーマネージャー) に入ります。 ◀▶ボタンを押して色相、色彩度、およびゲインの調整を行います。
Magenta (マゼンタ)	選択すると、Magenta Color Manager (マゼンタ色カラーマネージャー) に入ります。 ◀▶ボタンを押して色相、色彩度、およびゲインの調整を行います。
Yellow (黄)	選択すると、Yellow Color Manager (黄色カラーマネージャー) に入ります。 ◀▶ボタンを押して色相、色彩度、およびゲインの調整を行います。
White (白)	選択すると、White Color Manager (白色カラーマネージャー) に入ります。 ◀▶ボタンを押して赤色、緑、および青色の調整を行います。

Settings 1 (設定 1) メニュー

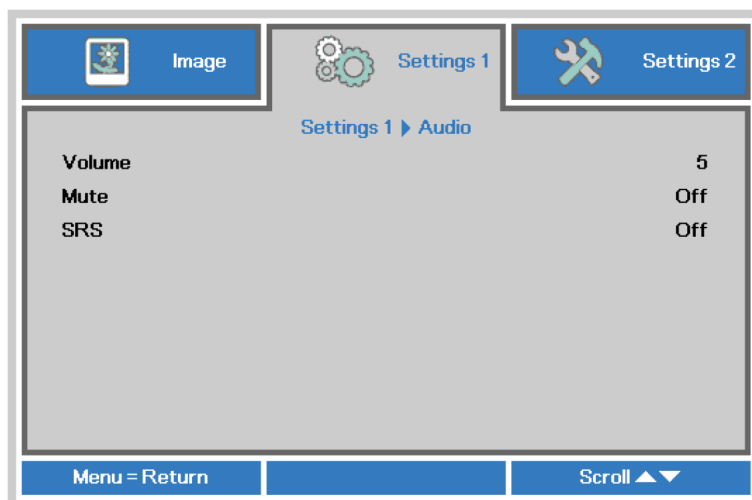
MENU (メニュー) ボタンを押して **OSD** メニューを開きます。カーソル◀▶ボタンを押して **Settings 1 (設定 1)** メニューに移動します。カーソル▲▼ボタンを押すと **Settings 1 (設定 1)** メニュー内を上下に移動することができます。◀▶を押して、設定値の入力と変更を行います。



項目	説明
Source (ソース)	カーソル◀▶ボタンを押して Source (ソース) メニューに入ります。選択された入力ソース (IR/キーパッド) が参照されます。
Projection (プロジェクション)	カーソル◀▶ボタンを押して Projection (プロジェクション) に入ります。4 種類ある投影方法から 1 つを選択します。
Aspect Ratio (アスペクト比)	カーソル◀▶ボタンを押して Aspect Ratio (アスペクト比) に入り、ビデオのアスペクト比を調整します。
Keystone (キーストーン)	カーソル◀▶ボタンを押して Keystone (キーストーン) に入り、ディスプレイのキーストーンを調整します。
Digital Zoom (デジタルズーム)	カーソル◀▶ボタンを押して Digital Zoom (デジタルズーム) に入り、調整を行います。
Audio (オーディオ)	◀ (Enter (エンター)) / ▶を押して Audio (オーディオ) メニューに入ります。(「 オーディオ 」(P29) を参照)
Advanced 1 (詳細設定 1)	◀ (Enter (エンター)) / ▶を押して Advanced 1 (詳細設定 1) メニューに入ります。(「 詳細設定 1 の機能 」(P30) を参照)
Advanced 2 (詳細設定 2)	◀ (Enter (エンター)) / ▶を押して Advanced 2 (詳細設定 1) メニューに入ります。(「 詳細設定 2 の機能 」(P32) を参照)

オーディオ

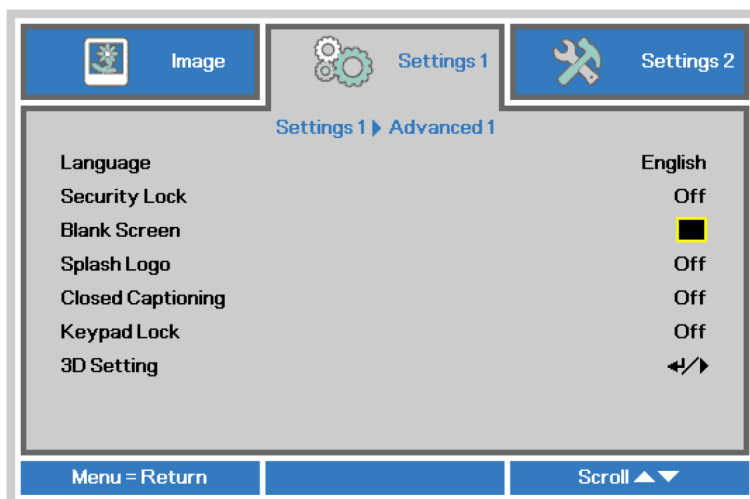
MENU (メニュー) ボタンを押して **OSD** メニューを開きます。◀▶ボタンを押して **Settings 1 (設定 1)** メニューに移動します。そこから▲▼を使用して **Audio (オーディオ)** メニューを選択し、**Enter (エンター)** または▶を押します。▲▼ボタンを押すと **Audio (オーディオ)** メニュー内を上下に移動することができます。



項目	説明
Volume (音量)	カーソル◀▶ボタンを押して Volume (音量) に入り、オーディオの音量調整を行います。
Mute (ミュート)	カーソル◀▶ボタンを押して Mute (ミュート) に入り、スピーカーの ON/OFF を行います。
SRS	カーソル◀▶ボタンを押して SRS に入り、オーディオサラウンドの ON/OFF を行います。

詳細設定 1 の機能

MENU (メニュー) ボタンを押して **OSD メニュー**を開きます。◀▶を押して **Settings 1 (設定 1)** メニューに移動します。そこから▲▼を使用して **Advanced 1 (詳細設定 1)** メニューを選択し、**Enter (エンター)** または▶を押します。▲▼ボタンを押すと **Advanced 1 (詳細設定 1)** メニュー内を上下に移動することができます。◀▶を押して設定値の入力および変更を行います。

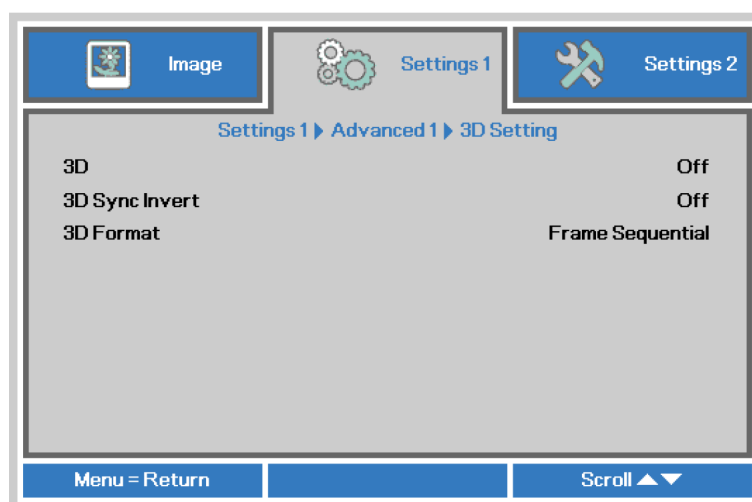


項目	説明
Language (言語)	カーソル◀▶ボタンを押して、任意の言語を選択します。
Security Lock (セキュリティロック)	カーソル◀▶ボタンを押して Security Lock (セキュリティロック) に入り、セキュリティロック機能の有効化または無効化を行います。
Blank Screen (ブランクスクリーン)	カーソル◀▶ボタンを押して Blank Screen (ブランクスクリーン) に入り、スクリーンをブランクにした場合の色を選択します。
Splash Logo (スプラッシュロゴ)	カーソル◀▶ボタンを押して Splash Logo (スプラッシュロゴ) に入り、スプラッシュロゴの ON/OFF を切り替えます。
Closed Captioning (クローズドキャプション)	カーソル◀▶ボタンを押して Closed Captioning (クローズドキャプション) に入り、クローズドキャプションを有効化または無効化します。
Keypad Lock (キーパッドロック)	カーソル◀▶ボタンを押して Keypad Lock (キーパッドロック) に入り、キーパッド上のキーを有効化または無効化します。
3D Setting (3D 設定)	◀ (Enter (エンター)) /▶を押して 3D メニューに入ります。(3D 設定の詳細については P31 を参照)

注記:

3D 機能をお楽しみいただくには、あらかじめお使いの DVD 機器において「Play Movie in 3D (3D 再生)」の設定を有効化させておく必要があります (「3D Disk (3D ディスク)」メニュー下)。

3D 設定



項目	説明
3D	カーソル◀▶ボタンを押して 3D メニューに入り、任意の 3D モードを選択します。
3D Sync Invert (3D 同期反転)	カーソル◀▶ボタンを押して 3D Sync Invert (3D 同期反転) に入り、3D 同期反転の有効化または無効化を行います。
3D Format (3D フォーマット)	カーソル◀▶ボタンを押して 3D Format (3D フォーマット) に入り、任意の 3D フォーマットの有効化または無効化を行います。

注記:

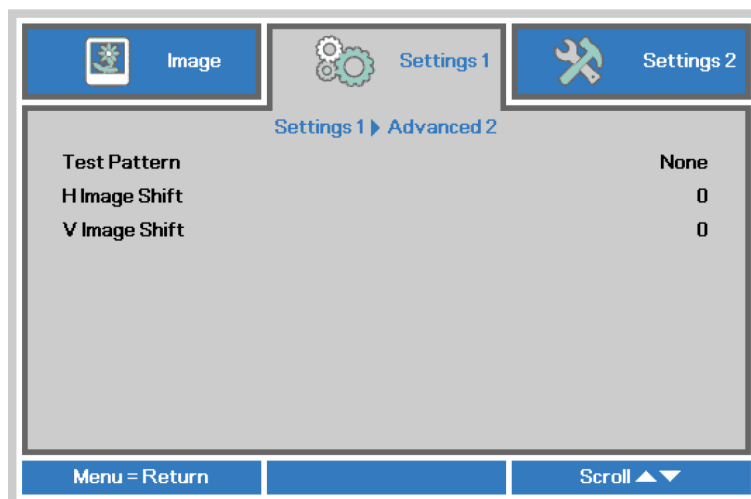
1. 利用できる 3D ソースがない場合、3D OSD のメニュー項目は灰色で表示されます (初期設定)。
2. プロジェクターが適切な 3D ソースに接続されると、3D OSD メニューが選択可能となります。
3. 3D イメージを見るには 3D メガネが必要です。
4. 3D 対応 DVD または 3D メディアファイルから 3D コンテンツを用意してください。
5. 3D コンテンツの再生を行う場合は、3D ソースを有効化する必要があります (一部の 3D 対応 DVD には 3D 再生の ON/OFF 選択機能が付属している場合があります)。
6. DLP リンク 3D または IR 3D シャッターメガネを使用する必要があります。IR 3D シャッターメガネを使用する場合、PC にドライバーをインストールして USB エミッターを接続する必要があります。
7. OSD の 3D モードは、メガネのタイプに合致している必要があります (DLP リンクまたは IR 3D)。
8. 眼鏡の電源を ON にします。通常、メガネには ON/OFF スイッチが設置されています。各タイプのメガネにはそれぞれ固有の取扱方法があります。セットアッププロセスを完了させるには、お使いのメガネに付属する設定ガイドの指示に従って必要な操作を行ってください。

注記:

各タイプのメガネ (DLP Link または IR シャッターメガネ) にはそれぞれ固有の取扱方法があります。セットアッププロセスを完了させるには、お使いのメガネに付属する設定ガイドの指示に従って必要な操作を行ってください。

詳細設定 2 の機能

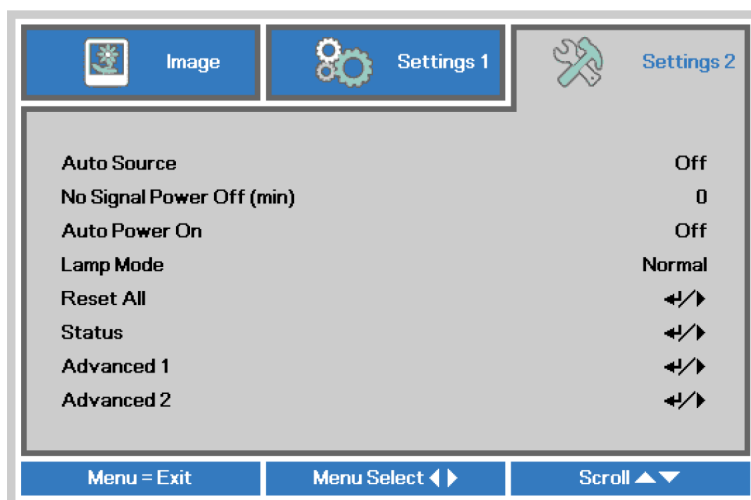
MENU (メニュー) ボタンを押して **OSD** メニューを開きます。◀▶を押して **Settings 1 (設定 1)** メニューに移動します。そこから▲▼を使用して **Advanced 2 (詳細設定 2)** メニューを選択し、**Enter (エンター)** または▶を押します。▲▼ボタンを押すと **Advanced 2 (詳細設定 2)** メニュー内を上下に移動することができます。◀▶を押して設定値の入力および変更を行います。



項目	説明
Test Pattern (テストパターン)	カーソル◀▶ボタンを押して Test Pattern (テストパターン) メニューに入り、内部テストパターンの選択を行います。
H Image Shift (H (水平) イメージシフト)	カーソル◀▶ボタンを押して H Image Shift (水平方向イメージシフト) に入り、水平方向のイメージシフト量を選択します。
V Image Shift (V (垂直) イメージシフト)	カーソル◀▶ボタンを押して V Image Shift (垂直方向イメージシフト) に入り、垂直方向のイメージシフト量を選択します。

Settings 2 (設定 2) メニュー

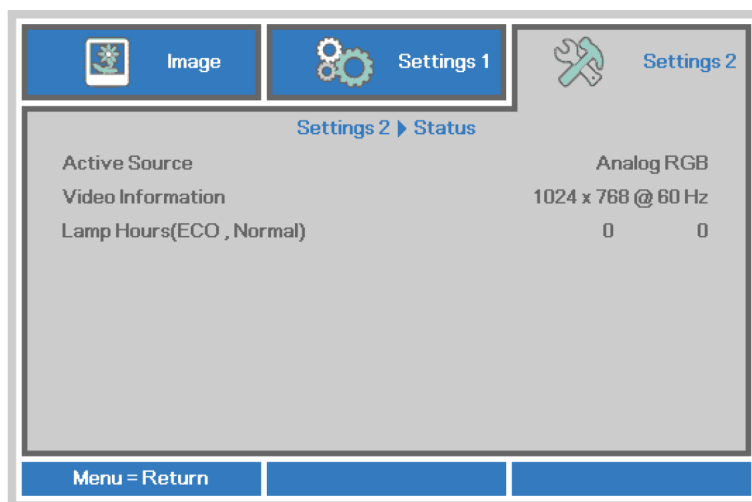
MENU (メニュー) ボタンを押して **OSD** メニューを開きます。カーソル◀▶ボタンを押して **Settings 2 (設定 2)** メニューに移動します。カーソル▲▼ボタンを押すと **Settings 2 (設定 2)** メニュー内を上下に移動することができます。



項目	説明
Auto Source (オートソース)	カーソル◀▶ボタンを押して Auto Source (オートソース) メニューに入り、ソースの自動検出機能の有効化または無効化を行います。
No Signal Power OFF (min) (信号なしパワーOFF (分))	カーソル◀▶ボタンを押して No Signal Power Off (信号なしパワーOFF) に入り、信号の検出がない状態でのランプの自動シャットダウン機能の有効化または無効化を行います。
Auto Power ON (オートパワーON)	カーソル◀▶ボタンを押して Auto Power ON (オートパワーON) に入り、AC 電源供給時における電源の自動投入機能の有効化または無効化を行います。
Lamp Mode (ランプモード)	カーソル◀▶ボタンを押して Lamp Mode (ランプモード) に入り、より明るい点灯か、より寿命を長くするための省電力点灯のいずれかのランプモードを選択します。
Reset All (オールリセット)	◀ (Enter (エンター)) /▶を押してすべての値を初期値に戻します。
Status (ステータス)	◀ (Enter (エンター)) /▶を押して Status (ステータス) メニューに入ります。(Status (ステータス) メニューに関する詳細については、P34 を参照)
Advanced 1 (詳細設定 1)	◀ (Enter (エンター)) /▶を押して Advanced 1 (詳細設定 1) メニューに入ります。(「詳細設定1 の機能」(P35) を参照)
Advanced 2 (詳細設定 2)	◀ (Enter (エンター)) /▶を押して Advanced 2 (詳細設定 2) メニューに入ります。(「詳細設定2 の機能」(P37) を参照)

ステータス

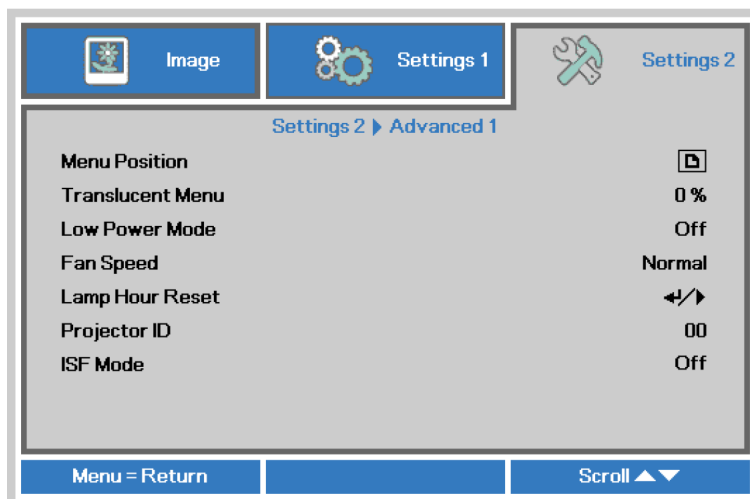
カーソル▲▼ボタンを押して **Settings 2 (設定 2)** メニューに移動します。**Status (ステータス)** メニューを選択し、Enter (エンター) または▶を押してメニュー内に入ります。



項目	説明
Active Source (アクティブソース)	アクティブ化されているソースを表示します。
Video Information (ビデオ情報)	RGB ソースの解像度/ビデオ情報、およびビデオソースのカラースタンダードを表示します。
Lamp Hours (ランプ使用時間)	ランプの使用時間情報が表示されます。(ECO (エコ)、Normal (ノーマル))

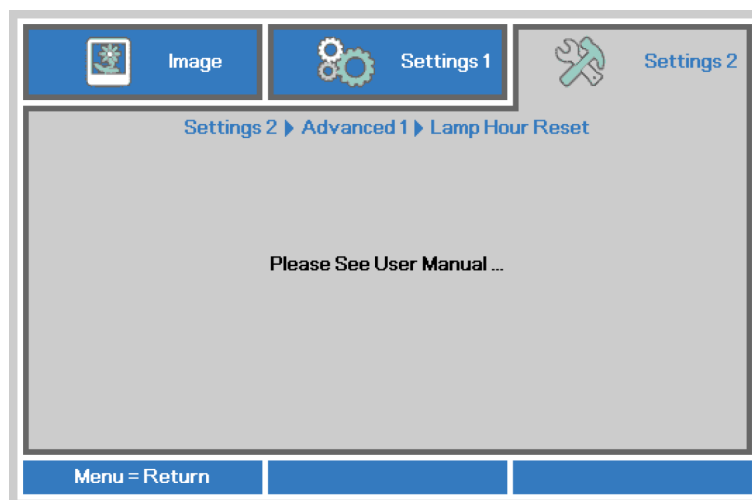
詳細設定 1 の機能

MENU (メニュー) ボタンを押して **OSD メニュー**を開きます。◀▶を押して **Settings 2 (設定 2)** メニューに移動します。そこから▲▼を使用して **Advanced 1 (詳細設定 1)** メニューを選択し、**Enter (エンター)** または▶を押します。▲▼ボタンを押すと **Advanced 1 (詳細設定 1)** メニュー内を上下に移動することができます。◀▶を押して設定値の入力および変更を行います。



項目	説明
Menu Position (メニュー表示位置)	カーソル◀▶ボタンを押して Menu Position (メニュー表示位置) に入り、任意の OSD 表示位置を選択します。
Translucent Menu (透明メニュー)	カーソル◀▶ボタンを押して Translucent Menu (透明メニュー) に入り、OSD の背景の透過レベルを選択します。
Low Power Mode (省電力モード)	カーソル◀▶ボタンを押して Low Power Mode (省電力モード) に入り、省電力モードの ON/OFF を切り替えます。
Fan Speed (ファンスピード)	カーソル◀▶ボタンを押して Fan Speed (ファンスピード) に入り、ファンスピード (Normal (ノーマル)、Hight (高速)) を切り替えます。 注記: 気温と湿度が高い場合、または使用場所の標高が高い (1500 m (4921 フィート) 以上) ときには高速モードを使用することが推奨されます。
Lamp Hour Reset (ランプ使用時間リセット)	ランプを交換した場合にはこの項目をリセットする必要があります。(ランプ使用時間リセットの詳細については P36 を参照)
Projector ID (プロジェクターID)	カーソル◀▶ボタンを押して Projector ID (プロジェクターID) に入り、00~98 までの二桁のプロジェクターID の調整を行います。
ISF Mode (ISF モード)	カーソル◀▶ボタンを押して ISF Mode (ISF モード) に入り、ISF パラメーターを調整します。

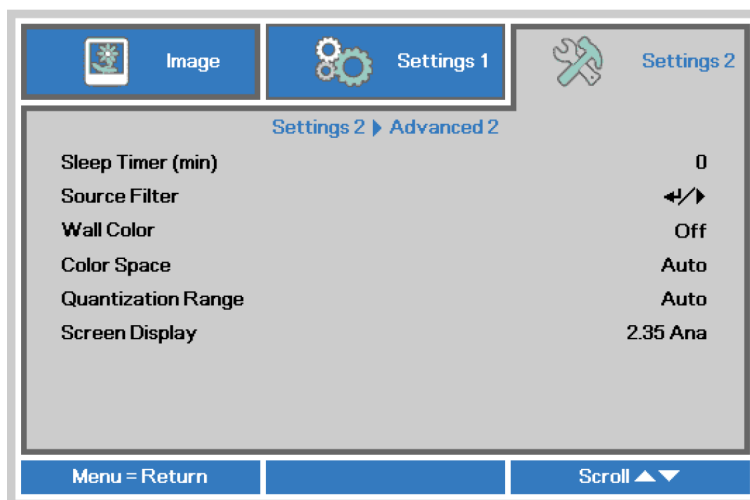
ランプ使用時間リセット



ランプ使用時間カウンターをリセットする場合は、「[ランプのリセット](#)」(P41) を参照してください。

詳細設定2の機能

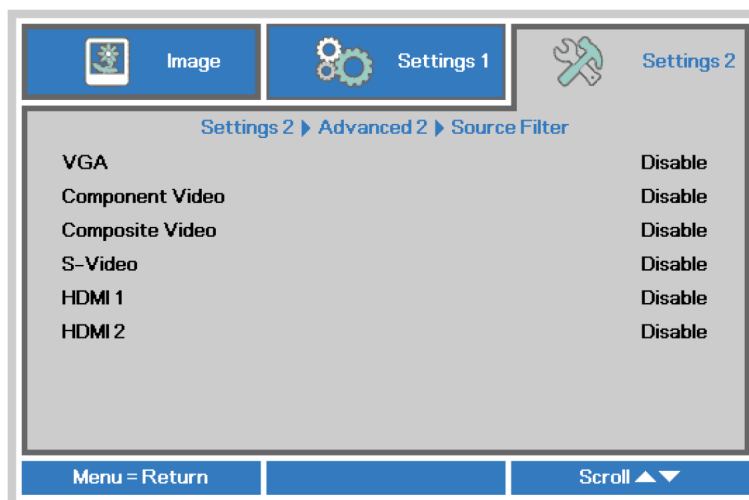
MENU (メニュー) ボタンを押して **OSD** メニューを開きます。◀▶を押して **Settings 2 (設定2)** メニューに移動します。そこから▲▼を使用して **Advanced 2 (詳細設定2)** メニューを選択し、**Enter (エンター)** または▶を押します。▲▼ボタンを押すと **Advanced 2 (詳細設定2)** メニュー内を上下に移動することができます。◀▶を押して設定値の入力および変更を行います。



項目	説明
Sleep Timer (min) (スリープタイマー (分))	カーソル◀▶ボタンを押して Sleep Timer (スリープタイマー) に入り、設定を行います。設定された時間が経過すると、プロジェクターは自動的に OFF になります。
Source Filter (ソースフィルター)	◀ (Enter (エンター)) / ▶を押して Source Filter (ソースフィルター) メニューに入ります。(ソースフィルターの詳細については P38 を参照)
Wall Color (ウォールカラー)	カーソル◀▶ボタンを押して Wall Color (ウォールカラー) に入り、ウォールカラーの設定を行います。
Color Space (カラースペース)	カーソル◀▶ボタンを押して Color Space (カラースペース) に入り、カラースペースの設定を行います。
Quantization Range (量子化レンジ)	カーソル◀▶ボタンを押して Quantization Range (量子化レンジ) に入り、量子化レンジの設定を行います。
Screen Display (スクリーンディスプレイ)	カーソル◀▶ボタンを押して Screen Display (スクリーンディスプレイ) に入り、スクリーンディスプレイの設定を行います。

ソースフィルター

ENTER (エンター) ボタンを押して **Source Filter (ソースフィルター)** のサブメニューに入ります。



項目	説明
VGA	カーソル◀▶ボタンを押して、VGA1 ソースの有効化または無効化を行います。
Component Video (コンポーネントビデオ)	カーソル◀▶ボタンを押して、Component Video (コンポーネントビデオ) に入り、コンポーネントビデオの有効化または無効化を行います。
Composite Video (コンポジットビデオ)	カーソル◀▶ボタンを押して、Composite Video (コンポジットビデオ) に入り、コンポジットビデオの有効化または無効化を行います。
S-Video (S-ビデオ)	カーソル◀▶ボタンを押して、S-Video (S-ビデオ) に入り、S-ビデオソースの有効化または無効化を行います。
HDMI 1	カーソル◀▶ボタンを押して、HDMI 1 に入り、HDMI 1 ソースの有効化または無効化を行います。
HDMI 2	カーソル◀▶ボタンを押して、HDMI 2 に入り、HDMI 2 ソースの有効化または無効化を行います。

保守と安全性

プロジェクターランプの交換

プロジェクターランプの電球が切れた場合、交換作業を行ってください。交換には必ず認定済みの交換パーツを使用する必要があります。交換パーツはお近くの販売店からご注文いただけます。

**重要:**

- a. 本製品で使用するプロジェクターランプには、少量の水銀が含まれています。
- b. 本製品は一般の家庭ごみとして廃棄することはできません。
- c. 本製品を廃棄する場合は、各地域の当局の定める規則を遵守して廃棄してください。

**警告:**

ランプを交換する場合は、交換作業を行う 30 分以上前にプロジェクターの電源を切り、コンセントを抜いておいてください。これに従わない場合、重度のやけどを負う恐れがあります。

**注意:**

ごく稀に、通常動作中にランプの電球が切れてガラスの破片や粉が後方の排気口から飛び出してくる場合があります。

このとき、ガラスの粉や破片を吸い込んだり、触ったりしないよう注意してください。怪我をする恐れがあります。

ガスや割れたランプの破片で怪我をしないよう、排気口には絶対に顔を近づけないでください。

天井に取り付けたプロジェクターからランプを取り外す際には、プロジェクターの下側に誰もいないことを確認してください。ランプが焼損していた場合、ガラスの破片が落下する可能性があります。

**ランプが爆発した場合**

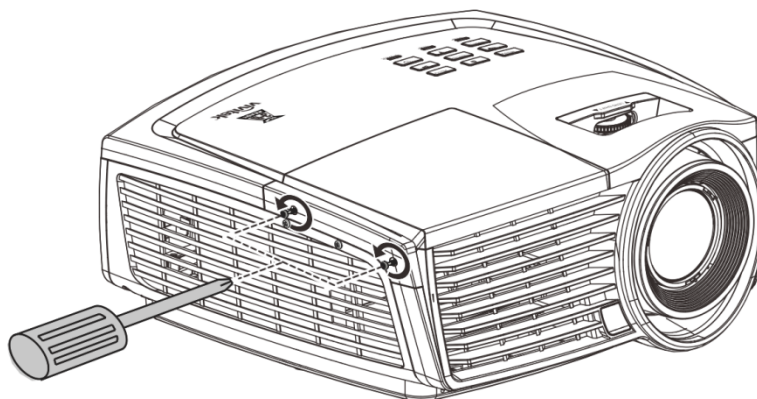
ランプが爆発した場合、ガスや割れたガラスの破片などがプロジェクターの内部から排気口を通して飛び出してくる恐れがあります。ガスには有害な水銀が含まれます。

このような場合は、窓とドアを開けて十分な換気を行ってください。

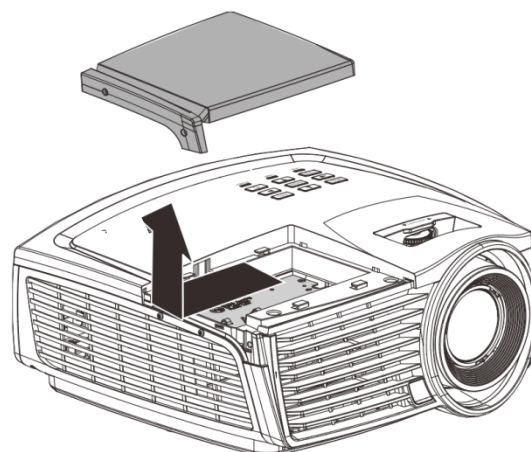
ガスを吸い込んだり、割れたランプの破片が眼や口に入った場合は、速やかに医師の診察を受けてください。

1.

ランプ格納部のカバーに取り付けられた 2 本のネジを緩めます。

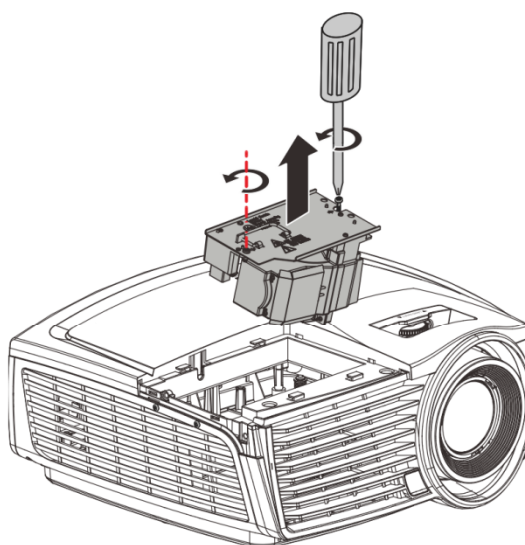


2. ランプ格納部のカバーを取り外します。



3. ランプモジュールから、3本のネジを取り外します。

4. モジュールハンドルを持ち上げます。

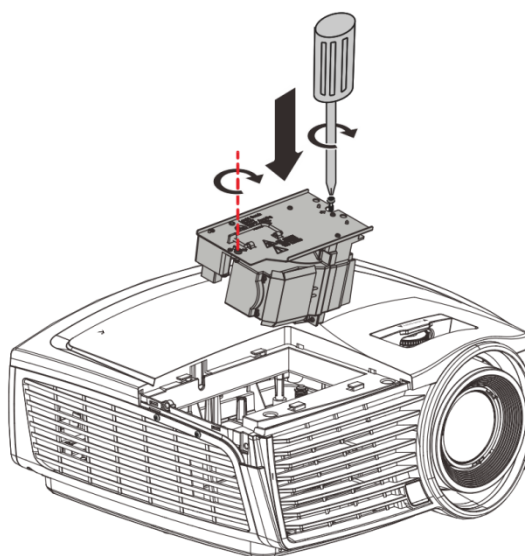


5. モジュールハンドルをしっかりと引っ張って、ランプモジュールを取り外します。

6. 新しいランプモジュールを取り付けるには、ステップ 1~5 の手順を逆から行います。損傷を防ぐため、取り付け時にはランプモジュールとコネクタを正しく合わせ、モジュールが水平になっていることを確認します。

注記:

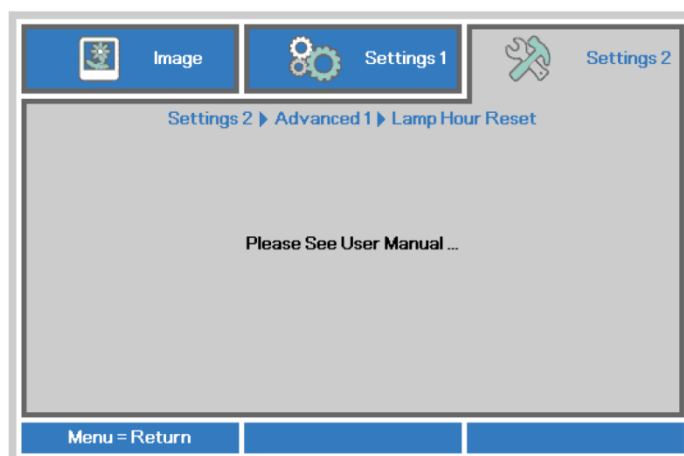
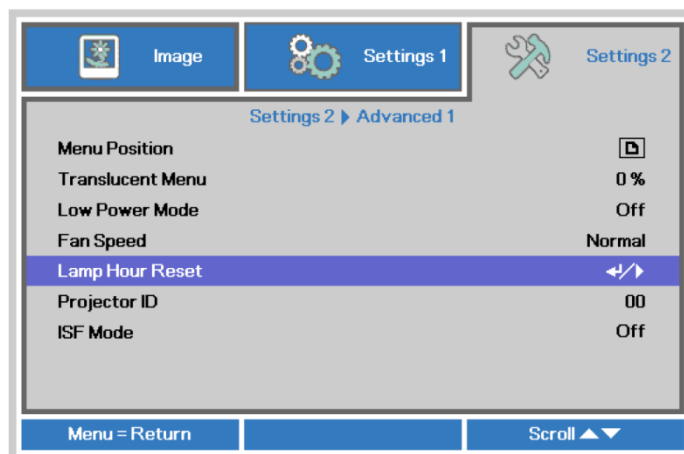
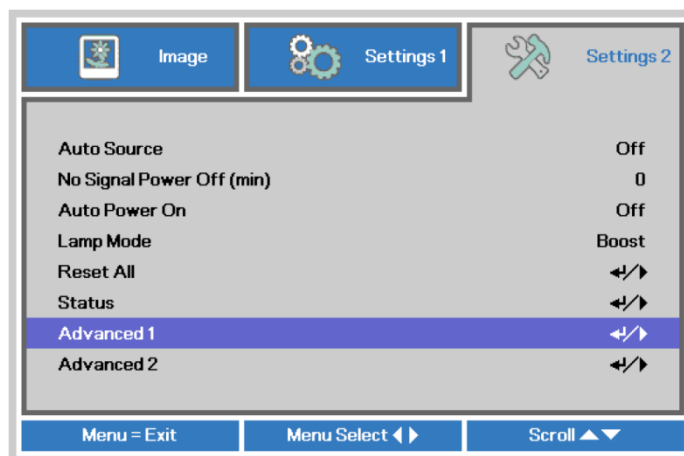
ネジを締め付ける前に、ランプモジュールが所定の位置に正しく配置され、ランプコネクタが適切に接続されていることを確認してください。



ランプ使用時間のリセット

ランプの交換後には、下記の手順に従ってランプ使用時間カウンターをゼロにリセットしてください。

1. **MENU (メニュー)** ボタンを押して OSD メニューを開きます。
2. カーソル◀▶ボタンを押して **Settings 2 (設定 2)** メニューまで移動します。
カーソルボタンを押して **Advanced 1 (詳細設定 1)** を選択し、**Enter (エンター)** を押します。
3. カーソル▼▲ボタンを押して **Lamp Hour Reset (ランプ使用時間リセット)** を選択します。
4. カーソル▶または **Enter (エンター)** を押します。
メッセージが表示されます。
5. ▼▲◀▶ボタンを押すと、ランプ使用時間をリセットすることができます。
6. **MENU (メニュー)** ボタンを押すと、**Settings 2 (設定 2)** の画面まで戻ります。



プロジェクターの清掃

長く正常にお使いいただくために、プロジェクターから埃や汚れを取り除く必要があります。



警告:

1. 清掃を行う場合は、清掃作業を開始する 30 分以上前にプロジェクターの電源を切り、コンセントを抜いておいてください。これに従わない場合、重度のやけどを負う恐れがあります。
2. 清掃は必ず水で濡らした布のみを使用してください。プロジェクターの換気口に水が入らないよう注意してください。
3. プロジェクター内部に少量の水が入り込んだ場合は、コンセントを抜いた状態のまま換気の良い部屋で数時間放置してください。
4. 大量の水がプロジェクター内部に入り込んだ場合、プロジェクターの修理が必要です。

レンズの清掃

光学レンズ用クリーナーは一般のカメラ販売店で購入することができます。プロジェクターレンズを清掃する際には、以下の指示に従ってください。

1. 光学レンズクリーナーを清潔な柔らかいクロスに少量たらしめます。(クリーナーをレンズに直接つけないでください)
2. 弧を描くようにクロスを動かしながら、レンズを軽く拭き取ります。



注意:

1. 研磨剤入りのクリーナーや溶剤は使用しないでください。
2. 変色や色あせを防ぐため、クリーナーがプロジェクターケースに付着しないよう注意してください。

ケースの清掃

プロジェクターケースを清掃する際には、以下の指示に従ってください。

1. 水に濡らした清潔なクロスを使用して埃を拭き取ります。
2. 中性洗剤（食器洗い洗剤など）を溶かしたぬるま湯にクロスを浸し、ケースを拭き取ります。
3. その後、洗剤をすべて洗い流したクロスでプロジェクターを再度拭き取ります。



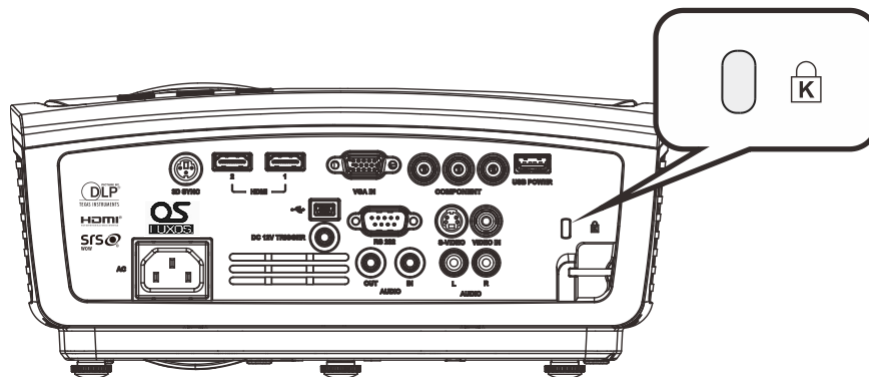
注意:

ケースの変色または色あせを防ぐため、研磨剤入りのアルコール系クリーナーは使用しないでください。

Kensington®ロックの使用/セキュリティバーの使用

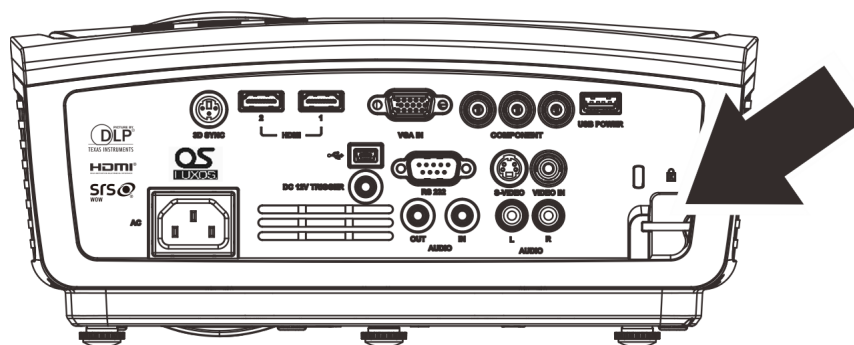
Kensington®ロックの使用

盗難防止の対策が必要な場合は、Kensington スロットとセキュリティケーブルを使用してプロジェクターを動かしにくい設備 (柱、机など) に固定してください。



セキュリティバーの使用

パスワード保護機能やKensingtonロックに加え、セキュリティバーを設置すれば、プロジェクターの盗難防止対策をより一層強化させることができます (下図を参照)。



トラブルシューティング

よくある不具合とその解決法

ここではプロジェクターの使用時に発生し得る不具合について、その対処法を紹介します。ここに記載されている対処法を実施しても不具合が解消されない場合は、購入元の販売店にご相談ください。

長時間のトラブルシューティングを実施したにもかかわらず、結果的に判明した原因は接続の緩みなどの単純なものだった、という例は多くあります。そのため、各不具合に特化した解決法を実施する前に以下の事項を確認してください。

- コンセントに電気が供給されているかを確認するため、別の電気機器をコンセントに接続してみてください。
- プロジェクターの電源がONになっているか確認してください。
- すべての接続が正しく行われているか確認してください。
- 接続された機器の電源がONになっているか確認してください。
- 接続されたPCがスリープモードなどになっていないか確認してください。
- 接続されたノートPCが外部ディスプレイに設定されているか確認してください。
(一般的に、ノートブックの外部ディスプレイ切り替えは、[Fn]キーを使用したキーの組み合わせで実行することができます)

トラブルシューティングのヒント

各問題に特化したセクションでは、提案される手順の順序通りに作業を行ってください。こうすることでより迅速に問題を解決できる可能性があります。

問題の箇所を的確に検出し、不要な部品交換を行わないよう注意してください。

例えば、電池を交換しても問題が解決されない場合は、元の電池を戻してから次のステップに進んでください。

トラブルシューティングの際には実施した手順の記録を取ってください。それらの情報は、テクニカルサポートに連絡したり、修理担当者と呼んだ際の有効な資料となります。

LED によるエラーメッセージ

エラーコードメッセージ	電源LED (緑)	ランプLED (赤)	温度LED (赤)
システム初期状態	点滅	OFF	OFF
電源ON準備完了 (スタンバイ)	ON	OFF	OFF
システム電源ON	点滅	OFF	OFF
ランプ点灯、システム安定状態	ON	OFF	OFF
冷却中	点滅	OFF	OFF
1W MCUがスケーラーの作動停止を確認 (初期故障)	2回点滅	OFF	OFF
温度超過	ON	OFF	ON
過熱防止センサー (ブレイク式) エラー	4回点滅	OFF	OFF
ランプ故障	5回点滅	ON	OFF
ランプ温度シャットダウン	5回点滅	1回点滅	OFF
ランプの出力回路の短絡検出	5回点滅	2回点滅	OFF
ランプ寿命検出	5回点滅	3回点滅	OFF
ランプ点灯失敗	5回点滅	4回点滅	OFF
通常作動時にランプが消灯	5回点滅	5回点滅	OFF
ランアップフェーズ中にランプが消灯	5回点滅	6回点滅	OFF
ランプ電圧異常	5回点滅	7回点滅	OFF
ランプバラスト異常	5回点滅	8回点滅	OFF
ランプバラスト通信エラー	5回点滅	10回点滅	OFF
ファン1エラー	6回点滅	1回点滅	OFF
ファン2エラー	6回点滅	2回点滅	OFF
ファン3エラー	6回点滅	3回点滅	OFF
ケース開	7回点滅	OFF	OFF
DAD1000エラー	8回点滅	OFF	OFF
カラーホイールエラー	9回点滅	OFF	OFF

エラー発生時には AC 電源コードの接続を外して 1 分間待ってから、プロジェクターを再起動してください。電源またはランプの LED が依然として点滅している場合や、上記チャート内に記載されていないその他の事象が発生した場合には、サービスセンターまでご連絡ください。

イメージの不具合

問題: スクリーンにイメージが投影されない

1. ノート PC またはデスクトップ PC の設定を確認してください。
2. すべての機器の電源を一度 OFF にして、正しい順序で再度 ON にしてください。

問題: イメージがぼやける

1. プロジェクターのフォーカスを調整します。
2. リモコンの **Auto (オート)** ボタンを押します。
3. プロジェクターとスクリーン間の距離が規定の範囲内であることを確認します。
4. プロジェクターレンズがきれいな状態であるか点検します。

問題: イメージの上部または底部が広がっている (台形歪み)

1. プロジェクターを、できる限りスクリーンに対して垂直になるように配置します。
2. **Keystone (キーストーン)** ボタンを使用して、台形歪みの問題を解消します。

問題: イメージが反転する

OSD の **Settings 1 (設定 1)** メニューで **Projection (プロジェクション)** の設定を確認します。

問題: イメージに線が入る

1. OSD の、**Image (イメージ)** → **Computer (コンピュータ)** メニューから **Frequency (周波数)** および **Tracking (トラッキング)** にアクセスし、設定をデフォルト値に戻します。
2. 不具合の原因が接続先の PC のビデオカードにないことを確認するため、別のコンピュータを接続します。

問題: イメージにコントラストがない

OSD の **Image (イメージ)** メニューから **Contrast (コントラスト)** の設定を調整します。

問題: 投影されたイメージの色がソースイメージと異なる

OSD の **Image (イメージ)** → **Advanced (詳細設定)** メニューから **Color Temperature (色温度)** および **Gamma (ガンマ)** の項目にアクセスし、設定を調整します。

ランプの不具合

問題: プロジェクターから光が出ない

1. 電源ケーブルがしっかりと接続されているか点検します。
2. 使用するコンセントに他の電気機器を接続して、電源が良好な状態であることを確認します。
3. プロジェクターを正しい順序で再起動させ、電源 LED が点灯するか点検します。
4. 最近ランプを交換したばかりの場合は、ランプの接続をやり直します。
5. ランプモジュールを交換します。
6. 古いランプをプロジェクターに戻して、プロジェクターを修理に出します。

問題: ランプが消灯する

1. 電力サージによってランプが消灯する場合があります。電源コードを接続し直してください。電源 LED が点灯する場合は、電源ボタンを押します。
2. ランプモジュールを交換します。
3. 古いランプをプロジェクターに戻して、プロジェクターを修理に出します。

リモコンの問題

問題: プロジェクターがリモコンに反応しない

1. リモコンをプロジェクターのセンサーにまっすぐ向けます。
2. リモコンとセンサー間に障害物がないことを確認します。
3. 部屋の蛍光灯をすべて消します。
4. 電池の+極と-極の取り付けの向きが正しいか確認します。
5. 電池を交換します。
6. 周辺にあるその他の赤外線利用機器の電源を OFF にします。
7. リモコンを修理に出します。

オーディオの問題

問題: 音が出ない

1. リモコンの音量を調整します。
2. オーディオソースの音量を調整します。
3. オーディオケーブルが正しく接続されているか確認します。
4. ソースオーディオの出力状態を別のスピーカーで試します。
5. プロジェクターを修理に出します。

問題: 音がゆがむ (ソース通りに聞こえない)

1. オーディオケーブルが正しく接続されているか点検します。
2. ソースオーディオの出力状態を別のスピーカーで試します。
3. プロジェクターを修理に出します。

プロジェクターを修理に出すときは

問題の解決が難しい場合は、プロジェクターを修理に出す必要があります。ご購入時の梱包材を使用してプロジェクターを梱包してください。機器の送付時には、不具合の具体的な説明と、問題解消のために試みた手順のチェックリストを添付してください。この情報は修理担当者が作業を行う際に役立ちます。修理依頼時の機器の送付先は、ご購入元の販売店としてください。

HDMI に関する Q&A

Q. 「スタンダード」の HDMI ケーブルと「ハイスピード」タイプの HDMI ケーブルにはどのような違いがありますか？

先日、HDMI Licensing, LLC は HDMI ケーブルを「スタンダードスピード」品と「ハイスピード」品の 2 種類に分類して試験を行うと発表しました。

- ・「スタンダードスピード (またはカテゴリ1)」の HDMI ケーブルの場合、試験の合格基準は 75 Mhz / 2.25 Gbps の伝送帯域を確保すること、つまり 720p/1080i の信号に対応可能なことと定められています。
- ・一方、「ハイスピード (またはカテゴリ2)」の HDMI ケーブルでは、現在 HDMI ケーブルで対応可能な最大値である 340 Mhz/10.2 Gbps までの伝送帯域を確保し、1080p の解像度を持つ映像の処理が可能のほか、スタンダードスピード品より更に深い色深度とより高いリフレッシュレートを示すことが認証試験において確認されます。また、ハイスピードタイプの HDMI は WQXGA シネマモニター (解像度 2560 x 1600) のような高解像度ディスプレイにも対応しています。

Q. 長さが 10 m を超える HDMI ケーブルが必要な場合はどうしたら良いですか？

現在、HDMI を自社の製品に適用している多くの企業 (HDMI Adopter) がケーブルの有効長を通常の 10 m から更に長く延長するための HDMI 解決法を開発しています。これらの企業からはアクティブケーブル (ケーブル内に信号を増強して送信可能距離を延ばすための機器を内蔵したケーブル) やリピーター、アンプ、あるいは CAT 5/6 ケーブルやファイバー解決法など、様々な製品が販売されています。

Q. HDMI の認証ケーブルを見分ける方法がありますか？

本来、すべての HDMI 製品は、HDMI Compliance Test Specification に則ってメーカーによる認証を受けるよう求められています。しかしながら、中には HDMI のロゴを表示していながら正しい試験が行われていないケーブルも流通しているのが現状です。HDMI Licensing, LLC ではこれらの不適切な事案について積極的な調査を進めており、市場における HDMI の商標の適切な利用の徹底に努めています。お客様においては、信頼のある販売元からケーブルを購入されることを推奨します。

その他の Q&A については、<http://www.hdmi.org/learningcenter/faq.aspx#49> をご参照ください。

仕様

仕様一覧

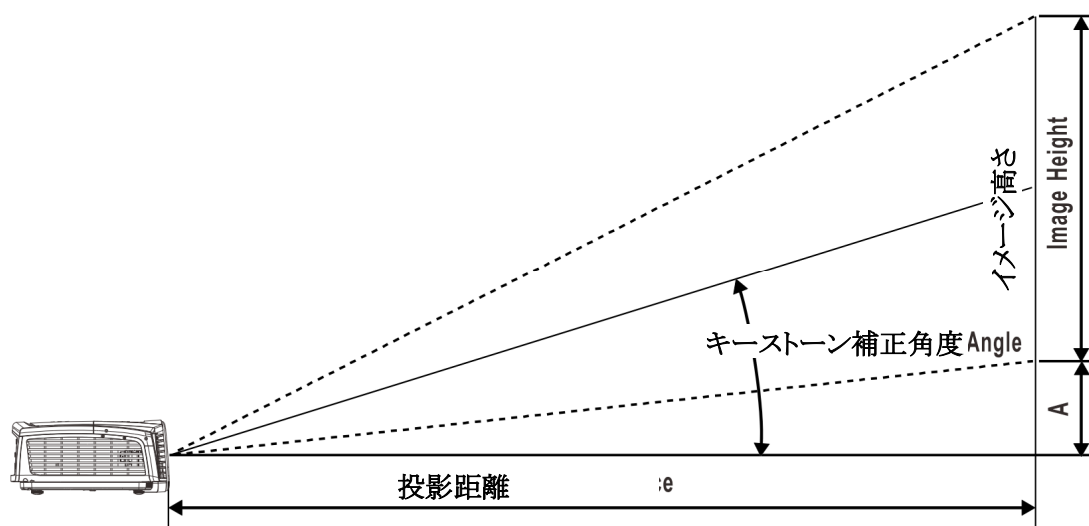
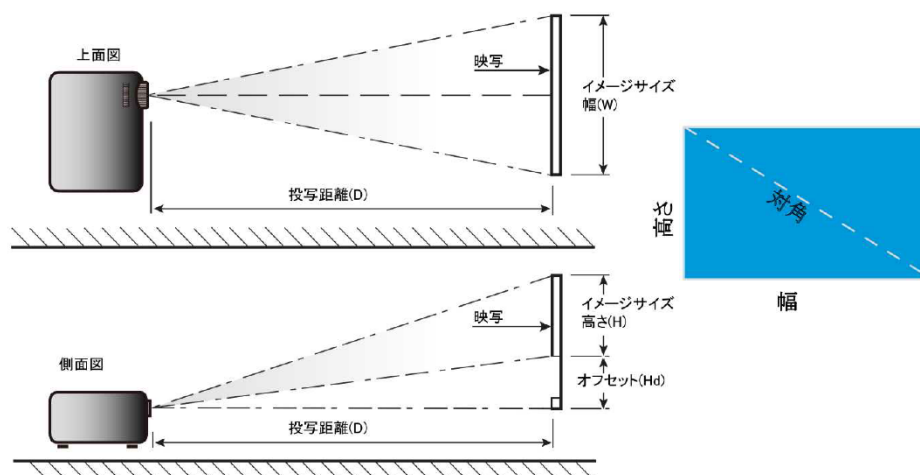
モデル	LP-200FH1
ディスプレイタイプ	TI DMD 0.65" 1080p
解像度	1080p 1920x1080
投影距離	0.92m ~ 13.88m
プロジェクタースクリーンサイズ	30" ~ 300" (HD サイズ 16:9)
プロジェクターレンズ	手動フォーカス/手動ズーム
ズーム比	1.3x (レンズシフトあり)
キーストーン補正 (垂直方向)	+/- 40°
投影方式	フロント、リア、卓上/天井 (リア、フロント)
データ互換性	VGA, SVGA, XGA, WXGA, SXGA, SXGA+, UXGA, WUXGA, Mac
SDTV / EDTV / HDTV	480i, 480p, 576i, 576p, 720p, 1080i, 1080p
ビデオ互換性	NTSC, PAL, SECAM
H-Sync	2D: 15, 30~91.4KHz / 3D: 101.6KHz
V-Sync	24~30Hz, 47~120Hz
安全認証	FCC-B, cUL, UL, CE, C-tick, CCC, KC, CU
動作温度	5° ~ 35°C
寸法	286.3 mm (W) x 272.2 mm (D) x 128.1 mm (H)
AC 入力	ユニバーサル AC 入力、100~240 V
電力消費量	290W (ノーマルモード)、250W (エコモード)、0.5W 未満 (スタンバイ)
ランプ	240W (通常時) / 190W (ECO モード)
オーディオスピーカー	2W モノラルスピーカー
入力端子	VGA x 1
	コンポーネント (YPbPr RCAx3) x 1
	コンポジット x 1
	S-ビデオ x 1
	HDMI x 2
	PC オーディオジャック (3.5 mm) x 1
	RCA ステレオオーディオ LR x 1
出力端子	PC オーディオジャック (3.5 mm) x 1
コントロール端子	RS-232C
	3D sync
	スクリーントリガ: DC ジャック x 1 (DC 12V 200 mA 出力機能)
	USB (mini-B タイプ) - 修理用のみ
盗難防止装置	USB (A タイプ) (DC 5V 給電対応)
	Kensington ロック/セキュリティバー

注記: 製品仕様についてご不明な点などございましたら、お近くの代理店までお問い合わせください。

投影距離と投影寸法

画面サイズ HD(16:9)	イメージサイズ m		投写距離(D) m		オフセット m(Hd)		
	幅(W)	高さ(H)	最短(ワイド)	最長(テレ)	下-5%(H基準10%)	TYP(15%)	上+9%(H基準24%)
30	0.67	0.37	0.92	1.39	0.04	0.06	0.09
40	0.89	0.50	1.23	1.85	0.05	0.07	0.12
50	1.11	0.62	1.54	2.31	0.06	0.09	0.15
60	1.33	0.75	1.85	2.78	0.07	0.11	0.18
70	1.55	0.87	2.15	3.24	0.09	0.13	0.21
80	1.77	1.00	2.46	3.70	0.10	0.15	0.24
90	1.99	1.12	2.77	4.16	0.11	0.17	0.27
100	2.21	1.25	3.08	4.63	0.12	0.19	0.30
110	2.44	1.37	3.38	5.09	0.14	0.21	0.33
120	2.66	1.50	3.69	5.55	0.15	0.22	0.36
130	2.88	1.62	4.00	6.01	0.16	0.24	0.39
140	3.10	1.74	4.31	6.48	0.17	0.26	0.42
150	3.32	1.87	4.62	6.94	0.19	0.28	0.45
180	3.99	2.24	5.54	8.33	0.22	0.34	0.54
200	4.43	2.49	6.15	9.25	0.25	0.37	0.60
250	5.54	3.11	7.69	11.57	0.31	0.47	0.75
300	6.64	3.74	9.23	13.88	0.37	0.56	0.90

(許容誤差±5%)



タイミングモード表

信号	解像度	H-SYNC (KHz)	V-SYNC (Hz)	コンポジット S-ビデオ	コンポーネント	RGB (アナログ)	HDMI (デジタル)
NTSC	—	15.734	60	○	—	—	—
PAL/SECAM	—	15.625	50	○	—	—	—
VESA	640 x 400	37.9	85.08	—	—	○	○
	720 x 400	31.5	70.1	—	—	○	○
	720 x 400	37.9	85.04	—	—	○	○
	640 x 480	31.5	60	—	—	○	○
	640 x 480	37.9	72.8	—	—	○	○
	640 x 480	37.5	75	—	—	○	○
	640 x 480	43.3	85	—	—	○	○
	800 x 600	35.2	56.3	—	—	○	○
	800 x 600	37.9	60.3	—	—	○	○
	800 x 600	46.9	75	—	—	○	○
	800 x 600	48.1	72.2	—	—	○	○
	800 x 600	53.7	85.1	—	—	○	○
	800 x 600	76.3	120	—	—	○	○
	1024 x 576	35.8	60	—	—	○	○
	1024 x 600	37.3	60	—	—	○	○
	1024 x 600	41.5	65	—	—	○	○
	1024 x 768	48.4	60	—	—	○	○
	1024 x 768	56.5	70.1	—	—	○	○
	1024 x 768	60	75	—	—	○	○
	1024 x 768	68.7	85	—	—	○	○
	1024 x 768	97.6	120	—	—	○	○
	1024 x 768	99	120	—	—	○	○
	1152 x 864	67.5	75	—	—	○	○
	1280 x 720	45	60	—	—	○	○
	1280 x 720	90	120	—	—	○	○
	1280 x 768	47.4	60	—	—	○	○
	1280 x 768	47.8	59.9	—	—	○	○
	1280 x 800	49.7	59.8	—	—	○	○
	1280 x 800	62.8	74.9	—	—	○	○
	1280 x 800	71.6	84.9	—	—	○	○
	1280 x 800	101.6	119.9	—	—	○	○
	1280 x 1024	64	60	—	—	○	○
	1280 x 1024	80	75	—	—	○	○
	1280 x 1024	91.1	85	—	—	○	○
	1280 x 960	60	60	—	—	○	○
	1280 x 960	85.9	85	—	—	○	○

信号	解像度	H-SYNC (KHz)	V-SYNC (Hz)	コンポジット S-ビデオ	コンポーネント	RGB (アナログ)	HDMI (デジタル)
	1360 x 768	47.7	60	—	—	○	○
	1400 x 1050	65.3	60	—	—	○	○
	1440 x 900	55.5	59.9	—	—	○	○
	1440 x 900	55.9	59.9	—	—	○	○
	1440 x 900	70.6	75	—	—	○	○
	1600 x 1200	75	60	—	—	○	○
	1680 x 1050	64.7	59.9	—	—	○	○
	1680 x 1050	65.3	60	—	—	○	○
	1920 x 1200	74	60	—	—	○	○
	1920 x 1080	67.5	60	—	—	○	○
Apple Macintosh	640 x 480	35	66.7	—	—	○	○
	832 x 624	49.7	74.5	—	—	○	○
	1024 x 768	60.2	74.9	—	—	○	○
	1152 x 870	68.7	75.1	—	—	○	○
SDTV	480i	15.734	60	—	○	—	○
	576i	15.625	50	—	○	—	○
EDTV	576p	31.3	50	—	○	—	○
	480p	31.5	60	—	○	—	○
HDTV	720p	37.5	50	—	○	—	○
	720p	45	60	—	○	—	○
	1080i	33.8	60	—	○	—	○
	1080i	28.1	50	—	○	—	○
	1080p	27	24	—	○	—	○
	1080p	28	25	—	○	—	○
	1080p	33.7	30	—	○	—	○
	1080p	56.3	50	—	○	—	○
	1080p	67.5	60	—	○	—	○

○: 周波数対応

—: 周波数非対応

★ パネルのネイティブ解像度は 1920 x 1080 です。

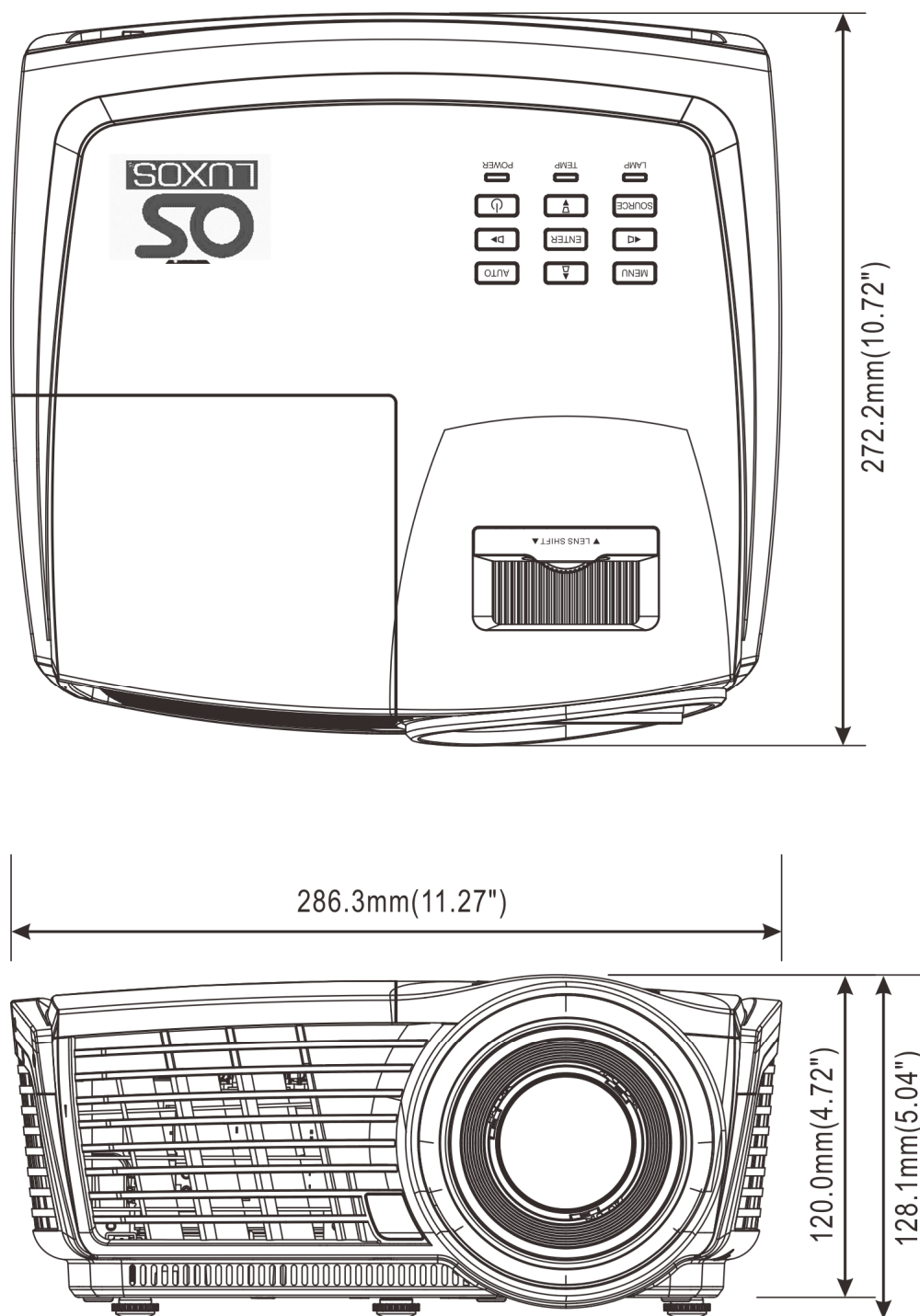
ネイティブ解像度以外の解像度の場合、表示されるテキストやラインのサイズが不規則になる可能性があります。

★ 黄色ハイライトされているものは表示可能要素のみであることを示します (4:3 のみ)。

★ 水色ハイライトされているものは、許容可能な程度の少量のノイズが含まれる場合があることを意味します。

★ HDTV タイミングのメインチェックツールは DVD プレーヤーとし、補足的なチェックツールは VG828 とします。

プロジェクターの寸法



規制の遵守

FCC 警告

本装置は、FCC 規則の 15 条に準拠したクラス B デジタル機器の制限に適合していることが試験により確認されています。この制限は、装置を商業地域で使用する場合に、有害な電波障害に対する適切な保護を提供するために規定されています。

本装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射することがあります。そのため、取扱説明書に従って設置および使用しない場合は、無線通信に有害な電波障害を引き起こす恐れがあります。本装置を住宅地で使用すると、有害な電波障害を引き起こす可能性があります。その場合は発生した電波障害を修正する必要があり、これに付随して発生する費用はすべてユーザーが負担するものとします。

コンプライアンス確立の責任を負う当事者による明確な承認を受けずに、製品に対する変更または改造を行った場合は、装置を操作するユーザーの権限が無効になることがあります。

カナダ

本クラス B デジタル機器はカナダの ICES-003 に準拠します。

安全認定

FCC-B、cUL、UL、CE、C-tick、CCC、KC、CU

付録I

RS-232C プロトコル

RS232 設定

ボーレート:	9600
パリティチェック:	なし
データビット:	8
停止ビット:	1
フローコントロール	なし

次のコマンドまでの最小遅延: 1 ミリ秒

制御コマンド構造

	ヘッダーコード	コマンドコード	データコード	エンドコード
HEX		Command	Data	0Dh
ASCII	'v'	Command	Data	CR

動作コマンド

注記:

「CR」は「キャリッジリターン」を意味します。

XX = 0~98 の場合、特定のプロジェクターの ID を示します。XX=99 の場合はすべてのプロジェクターに対応することを意味します。

結果の戻り値 P=成功 F= 不合格

n: 0=無効 / 1=有効値 (0~9999)

コマンドグループ 00				
ASCII	HEX	関数	説明	結果の戻り値
VXXS0001	56h Xh Xh 53h 30h 30h 30h 31h 0Dh	Power On		P/F
VXXS0002	56h Xh Xh 53h 30h 30h 30h 32h 0Dh	Power Off		P/F
VXXS0003	56h Xh Xh 53h 30h 30h 30h 33h 0Dh	Resync		P/F
VXXG0004	56h Xh Xh 47h 30h 30h 30h 34h 0Dh	Get Lamp Hours		Pn/F
VXXS0005n	56h Xh Xh 53h 30h 30h 30h 35h nh 0Dh	Set Air filter timer	n=0~999999	P/F
VXXG0005	56h Xh Xh 47h 30h 30h 30h 35h 0Dh	Get Air filter timer	n=0~999999	Pn/F
VXXS0006	56h Xh Xh 53h 30h 30h 30h 36h 0Dh	System Reset		P/F
VXXG0007	56h Xh Xh 47h 30h 30h 30h 37h 0Dh	Get System Status	0: リセット 1: スタンバイ 2: 作動 3: 冷却	Pn/F
VXXG0008	56h Xh Xh 47h 30h 30h 30h 38h 0Dh	Get F/W Version		Pn/F
VXXG0009	56h Xh Xh 47h 30h 30h 30h 39h 0Dh	Get Alter Email		Pn/F
VXXS0009n	56h Xh Xh 53h 30h 30h 30h 39h nh 0Dh	Set Alter Email	n=XXXXXX@XXX X.XXX.XX	P/F

コマンドグループ 01				
ASCII	HEX	関数	説明	戻り値
VXXG0101	56h Xh Xh 47h 30h 31h 30h 31h 0Dh	Get Brightness	n=0~100	Pn/F
VXXS0101n	56h Xh Xh 53h 30h 31h 30h 31h nh 0Dh	Set Brightness	n=0~100	P/F
VXXG0102	56h Xh Xh 47h 30h 31h 30h 32h 0Dh	Get Contrast	n=0~100	Pn/F
VXXS0102n	56h Xh Xh 53h 30h 31h 30h 32h nh 0Dh	Set Contrast	n=0~100	P/F
VXXG0103	56h Xh Xh 47h 30h 31h 30h 33h 0Dh	Get Color	n=0~100	Pn/F
VXXS0103n	56h Xh Xh 53h 30h 31h 30h 33h nh 0Dh	Set Color	n=0~100	P/F
VXXG0104	56h Xh Xh 47h 30h 31h 30h 34h 0Dh	Get Tint	n=0~100	Pn/F
VXXS0104n	56h Xh Xh 53h 30h 31h 30h 34h nh 0Dh	Set Tint	n=0~100	P/F
VXXG0105	56h Xh Xh 47h 30h 31h 30h 35h 0Dh	Get Sharpness	0~31	Pn/F
VXXS0105n	56h Xh Xh 53h 30h 31h 30h 35h nh 0Dh	Set Sharpness	0~31	P/F
VXXG0106	56h Xh Xh 47h 30h 31h 30h 36h 0Dh	Get Color Temperature	0: 暖 1: ノーマル 2: 冷	Pn/F
VXXS0106n	56h Xh Xh 53h 30h 31h 30h 36h nh 0Dh	Set Color Temperature	0: 暖 1: ノーマル 2: 冷	P/F
VXXG0107	56h Xh Xh 47h 30h 31h 30h 37h 0Dh	Get Gamma	0: 1.8 1: 2.0C 2: 2.2 3: 2.4 4: B&W 5: リニア	Pn/F
VXXS0107n	56h Xh Xh 53h 30h 31h 30h 37h nh 0Dh	Set Gamma	0: 1.8 1: 2.0C 2: 2.2 3: 2.4 4: B&W 5: リニア	P/F
VXXG0108	56h Xh Xh 47h 30h 31h 30h 38h 0Dh	Get Display Mode	0: プレゼンテーション 1: 明瞭 2: ゲーム 3: 映画 4: TV 5: sRGB 6: 黒板 7: ユーザー	Pn/F
VXXS0108n	56h Xh Xh 53h 30h 31h 30h 38h nh 0Dh	Get Display Mode	0: プレゼンテーション 1: 明瞭 2: ゲーム 3: 映画 4: TV 5: sRGB 6: 黒板 7: ユーザー	P/F

コマンドグループ 02				
ASCII	HEX	関数	説明	戻り値
VXXS0201	56h Xh Xh 53h 30h 32h 30h 31h 0Dh	Select RGB		P/F
VXXS0202	56h Xh Xh 53h 30h 32h 30h 32h 0Dh	Select RGB2		P/F
VXXS0203	56h Xh Xh 53h 30h 32h 30h 33h 0Dh	Select DVI		P/F
VXXS0204	56h Xh Xh 53h 30h 32h 30h 34h 0Dh	Select Video		P/F
VXXS0205	56h Xh Xh 53h 30h 32h 30h 35h 0Dh	Select S-Video		P/F

コマンドグループ 02				
ASCII	HEX	関数	説明	戻り値
VXXS0206	56h Xh Xh 53h 30h 32h 30h 36h 0Dh	Select HDMI		P/F
VXXS0207	56h Xh Xh 53h 30h 32h 30h 37h 0Dh	Select BNC		P/F
VXXS0208	56h Xh Xh 53h 30h 32h 30h 38h 0Dh	Select Component		P/F
VXXS0209	56h Xh Xh 53h 30h 32h 30h 39h 0Dh	Select HDMI 2(MEDIA)		P/F
VXXS0210	56h Xh Xh 53h 30h 32h 31h 30h 0Dh	Select HDMI 3		P/F
VXXG0220	56h Xh Xh 47h 30h 32h 32h 30h 0Dh	Get Current Source	戻り 1: RGB 2: RGB2 3: DVI 4: ビデオ 5: S-ビデオ 6: HDMI 7: BNC 8: コンポーネント 9: HDMI 2(MEDIA) 10: HDMI 3	Pn/F

コマンドグループ 03				
ASCII	HEX	関数	説明	戻り値
VXXG0301	56h Xh Xh 47h 30h 33h 30h 31h 0Dh	Get Scaling	0: フル 1: 4:3 2: 16:9 3: レターボックス 4: ネイティブ 5: 2.35:1	Pn/F
VXXS0301n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 30h 31h nh 0Dh	Set Scaling	0: フル 1: 4:3 2: 16:9 3: レターボックス 4: ネイティブ 5: 2.35:1	P/F
VXXG0302	56h Xh Xh 47h 30h 33h 30h 32h 0Dh	Blank		Pn/F
VXXS0302n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 30h 32h nh 0Dh	Blank		P/F
VXXG0303	56h Xh Xh 47h 30h 33h 30h 33h 0Dh	Auto Keystone On		Pn/F
VXXS0303n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 30h 33h nh 0Dh	Auto Keystone On		P/F
VXXG0304	56h Xh Xh 47h 30h 33h 30h 34h 0Dh	Freeze On		Pn/F
VXXS0304n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 30h 34h nh 0Dh	Freeze On		P/F
VXXG0305	56h Xh Xh 47h 30h 33h 30h 35h 0Dh	Volume	n=0~30	Pn/F
VXXS0305n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 30h 35h nh 0Dh	Volume	n=0~30	P/F
VXXG0306	56h Xh Xh 47h 30h 33h 30h 36h 0Dh	Treble	n=0~16	Pn/F
VXXS0306n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 30h 36h nh 0Dh	Treble	n=0~16	P/F
VXXG0307	56h Xh Xh 47h 30h 33h 30h 37h 0Dh	Bass	n=0~16	Pn/F
VXXS0307n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 30h 37h nh 0Dh	Bass	n=0~16	P/F
VXXG0308	56h Xh Xh 47h 30h 33h 30h 38h 0Dh	Projection Mode	0: フロント 1: リア 2: 天井 3: リア+天井	Pn/F
VXXS0308n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 30h 38h nh 0Dh	Projection Mode	0: フロント 1: リア 2: 天井 3: リア+天井	P/F

コマンドグループ 03				
ASCII	HEX	関数	説明	戻り値
VXXG0309	56h Xh Xh 47h 30h 33h 30h 39h 0Dh	Set vertical keystone value	n=-40~+40	Pn/F
VXXS0309n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 30h 39h nh 0Dh	Set vertical keystone value	n=-40~+40	P/F
VXXG0310	56h Xh Xh 47h 30h 33h 31h 30h 0Dh	Set horizontal keystone value	n=-20~+20	Pn/F
VXXS0310n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 31h 30h nh 0Dh	Set horizontal keystone value	n=-20~+20	P/F
VXXG0311	56h Xh Xh 47h 30h 33h 31h 31h 0Dh	Adjust the zoom	n=-10~+10	Pn/F
VXXS0311n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 31h 31h nh 0Dh	Adjust the zoom	n=-10~+10	P/F
VXXG0312	56h Xh Xh 47h 30h 33h 31h 32h 0Dh	Adjust the focus	n=-20~+20	Pn/F
VXXS0312n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 31h 32h nh 0Dh	Adjust the focus	n=-20~+20	P/F
VXXG0313	56h Xh Xh 47h 30h 33h 31h 33h 0Dh	Adjust the vertical lens shift	n=-20~+20	Pn/F
VXXS0313n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 31h 33h nh 0Dh	Adjust the vertical lens shift	n=-20~+20	P/F
VXXG0314	56h Xh Xh 47h 30h 33h 31h 34h 0Dh	Adjust the horizontal lens shift	n=-20~+20	Pn/F
VXXS0314n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 31h 34h nh 0Dh	Adjust the horizontal lens shift	n=-20~+20	P/F
VXXG0315	56h Xh Xh 47h 30h 33h 31h 35h 0Dh	Adjust the 3D Mode	n= 0~2	Pn/F
VXXS0315n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 31h 35h nh 0Dh	Adjust the 3D ode	0: Off 1: DLP 2: IR	P/F
VXXG0316	56h Xh Xh 47h 30h 33h 31h 36h 0Dh	Adjust the 3D sync inverter	n= 0~1	Pn/F
VXXS0316n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 31h 36h nh 0Dh	Adjust the 3D sync inverter	0: Off 1: On	P/F
VXXG0317	56h Xh Xh 53h 30h 33h 31h 37h 0Dh	Adjust the 3D format	n= 0~3	P/F
VXXS0317n	56h Xh Xh 47h 30h 33h 31h 37h nh 0Dh	Adjust the 3D format	0: FS 1: TB 2: SBS 3: FP	Pn/F
VXXG0319	56h Xh Xh 47h 30h 33h 31h 39h 0Dh	Adjust the Lamp mode	n= 0~2	Pn/F
VXXS0319n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 31h 39h nh 0Dh	Adjust the Lamp mode	0: エコ 1: ノーマル 2: ダイナミック	P/F
VXXG0322	56h Xh Xh 47h 30h 33h 32h 32h 0Dh	Get Fan Speed	n= 0~1	Pn/F
VXXS0322n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 32h 32h nh 0Dh	Set Fan Speed	0: ノーマル 1: ハイスピード	P/F
VXXG0331	56h Xh Xh 47h 30h 33h 33h 31h 0Dh	Get the R gain	n= 0~200	Pn/F
VXXS0331n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 33h 31h nh 0Dh	Set the R gain	n= 0~200	P/F
VXXG0332	56h Xh Xh 47h 30h 33h 33h 32h 0Dh	Get the G gain	n= 0~200	Pn/F
VXXS0332n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 33h 32h nh 0Dh	Set the G gain	n= 0~200	P/F
VXXG0333	56h Xh Xh 47h 30h 33h 33h 33h 0Dh	Get the B gain	n= 0~200	Pn/F
VXXS0333n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 33h 33h nh 0Dh	Set the B gain	n= 0~200	P/F
VXXG0334	56h Xh Xh 53h 30h 33h 31h 37h 0Dh	Get the R offset	n= -100~100	P/F
VXXS0334n	56h Xh Xh 47h 30h 33h 31h 37h nh 0Dh	Set the R offset	n= -100~100	Pn/F
VXXG0335	56h Xh Xh 47h 30h 33h 31h 39h 0Dh	Get the G offset	n= -100~100	Pn/F
VXXS0335n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 31h 39h nh 0Dh	Set the G offset	n= -100~100	P/F
VXXG0336	56h Xh Xh 47h 30h 33h 32h 32h 0Dh	Get the B offset	n= -100~100	Pn/F

コマンドグループ 03

ASCII	HEX	関数	説明	戻り値
VXXS0336n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 32h 32h nh 0Dh	Set the B offset	n= -100~100	P/F
VXXG0337	56h Xh Xh 47h 30h 33h 33h 37h 0Dh	Get the white R gain	n= 0~100	Pn/F
VXXS0337n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 33h 37h nh 0Dh	Set the white R gain	n= 0~100	P/F
VXXG0338	56h Xh Xh 47h 30h 33h 33h 38h 0Dh	Get the white G gain	n= 0~200	Pn/F
VXXS0338n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 33h 38h nh 0Dh	Set the white G gain	n= 0~200	P/F
VXXG0339	56h Xh Xh 47h 30h 33h 33h 39h 0Dh	Get the white B gain	n= 0~200	Pn/F
VXXS0339n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 33h 39h nh 0Dh	Set the white B gain	n= 0~200	P/F
VXXG0340	56h Xh Xh 53h 30h 33h 34h 30h 0Dh	Get the Red Hue	n= -100~100	P/F
VXXS0340n	56h Xh Xh 47h 30h 33h 34h 30h nh 0Dh	Set the Red Hue	n= -100~100	Pn/F
VXXG0341	56h Xh Xh 47h 30h 33h 34h 31h 0Dh	Get the Red Saturation	n= -100~100	Pn/F
VXXS0341n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 34h 31h nh 0Dh	Set the Red Saturation	n= -100~100	P/F
VXXG0342	56h Xh Xh 47h 30h 33h 34h 32h 0Dh	Get the Red Gain	n= -100~100	Pn/F
VXXS0342n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 34h 32h nh 0Dh	Set the Red Gain	n= -100~100	P/F
VXXG0343	56h Xh Xh 53h 30h 33h 34h 33h 0Dh	Get the Green Hue	n= -100~100	P/F
VXXS0343n	56h Xh Xh 47h 30h 33h 34h 33h nh 0Dh	Set the Green Hue	n= -100~100	Pn/F
VXXG0344	56h Xh Xh 47h 30h 33h 34h 34h 0Dh	Get the Green Saturation	n= -100~100	Pn/F
VXXS0344n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 34h 34h nh 0Dh	Set the Green Saturation	n= -100~100	P/F
VXXG0345	56h Xh Xh 47h 30h 33h 34h 35h 0Dh	Get the Green Gain	n= -100~100	Pn/F
VXXS0345n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 34h 35h nh 0Dh	Set the Green Gain	n= -100~100	P/F
VXXG0346	56h Xh Xh 53h 30h 33h 34h 36h 0Dh	Get the Blue Hue	n= -100~100	P/F
VXXS0346n	56h Xh Xh 47h 30h 33h 34h 36h nh 0Dh	Set the Blue Hue	n= -100~100	Pn/F
VXXG0347	56h Xh Xh 47h 30h 33h 34h 37h 0Dh	Get the Blue Saturation	n= -100~100	Pn/F
VXXS0347n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 34h 37h nh 0Dh	Set the Blue Saturation	n= -100~100	P/F
VXXG0348	56h Xh Xh 47h 30h 33h 34h 38h 0Dh	Get the Blue Gain	n= -100~100	Pn/F
VXXS0348n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 34h 38h nh 0Dh	Set the Blue Gain	n= -100~100	P/F
VXXG0349	56h Xh Xh 53h 30h 33h 34h 39h 0Dh	Get the Cyan Hue	n= -100~100	P/F
VXXS0349n	56h Xh Xh 47h 30h 33h 34h 39h nh 0Dh	Set the Cyan Hue	n= -100~100	Pn/F
VXXG0350	56h Xh Xh 47h 30h 33h 35h 30h 0Dh	Get the Cyan Saturation	n= -100~100	Pn/F
VXXS0350n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 35h 30h nh 0Dh	Set the Cyan Saturation	n= -100~100	P/F
VXXG0351	56h Xh Xh 47h 30h 33h 35h 31h 0Dh	Get the Cyan Gain	n= -100~100	Pn/F
VXXS0351n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 35h 31h nh 0Dh	Set the Cyan Gain	n= -100~100	P/F
VXXG0352	56h Xh Xh 53h 30h 33h 35h 32h 0Dh	Get the Magenta Hue	n= -100~100	P/F
VXXS0352n	56h Xh Xh 47h 30h 33h 35h 32h nh 0Dh	Set the Magenta Hue	n= -100~100	Pn/F
VXXG0353	56h Xh Xh 47h 30h 33h 35h 33h 0Dh	Get the Magenta Saturation	n= -100~100	Pn/F
VXXS0353n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 35h 33h nh 0Dh	Set the Magenta Saturation	n= -100~100	P/F
VXXG0354	56h Xh Xh 47h 30h 33h 35h 34h 0Dh	Get the Magenta Gain	n= -100~100	Pn/F
VXXS0354n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 35h 34h nh 0Dh	Set the Magenta Gain	n= -100~100	P/F

コマンドグループ 03				
ASCII	HEX	関数	説明	戻り値
VXXG0355	56h Xh Xh 53h 30h 33h 35h 35h 0Dh	Get the Yellow Hue	n= -100~100	P/F
VXXS0355n	56h Xh Xh 47h 30h 33h 35h 35h nh 0Dh	Set the Yellow Hue	n= -100~100	Pn/F
VXXG0356	56h Xh Xh 47h 30h 33h 35h 36h 0Dh	Get the Yellow Saturation	n= -100~100	Pn/F
VXXS0356n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 35h 36h nh 0Dh	Set the Yellow Saturation	n= -100~100	P/F
VXXG0357	56h Xh Xh 47h 30h 33h 35h 37h 0Dh	Get the Yellow Gain	n= -100~100	Pn/F
VXXS0357n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 35h 37h nh 0Dh	Set the Yellow Gain	n= -100~100	P/F
VXXG0358	56h Xh Xh 47h 30h 33h 35h 38h 0Dh	Get IR On/Off Status	n= 0~3	Pn/F
VXXS0358n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 35h 38h nh 0Dh	Set IR On/Off Status	0: 両側 ON 1: フロント ON 2: リア ON 3: 両側 OFF	P/F

保 証 書

型 式	LP-200FH1		
シ リ ア ル 番 号			
ご 購 入 日	年 月 日	保証期間	ご購入日から1年間
★お客様	ご 住 所		
	お 名 前	様 TEL ()	
★販売店	住 所 店 名	TEL () (印) またはサイン	

ご販売店様へ 上記★印欄は必ず記入してお渡しください。

無料修理規定

※本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記入されているかお確かめください。

万一記入が無い場合は直ちに買い上げ販売店にお申し出ください。

※故障品の修理に要する当社までの運送費はお客様のご負担となります。

1.保証期間内であっても次の場合は有償修理となります。

- (1) この保証書のご提示がない場合。
- (2) 保証書に、ご購入の年月日、お客様名、お販売店名の記入がない場合、および保証書の字句を書き換えられた場合。
- (3) ご使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷。
- (4) お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障および損傷。
- (5) 火災や天災等による故障および損傷。
- (6) 消耗品および付属品の交換の場合。

2.その他弊社が有償修理と判断した場合、実費を申し受けます。

3.ランプの保証期間について

ランプの保証は購入日または交換日より6ヶ月以内もしくはご使用時間が1000時間までのいずれか早く到達した時点までとなります。

3.この保証書は日本国内においてのみ有効です。

Effective only Japan.

4.本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。

したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、下記コンタクトセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

販売元 株式会社オーエスエム

コンタクトセンター

〒120-0005 東京都足立区綾瀬3-25-18

TEL : 0120-380-495 FAX : 0120-380-496

(受付時間：平日9：00～18：00 ※土日祝日を除く)

E-mail : info@os-worldwide.com

※フリーダイヤルに接続できないお客様は、ご面倒ですが下記電話番号までおかけください。

TEL : 03-3629-5211 FAX:03-3629-5214